



厚生労働省医道審議会歯科医師分科会
厚生労働省専用第22会議室、Oct/28/2019

歯学部における 臨床実習前の全国統一評価について



-臨床実習前共用試験OSCE-

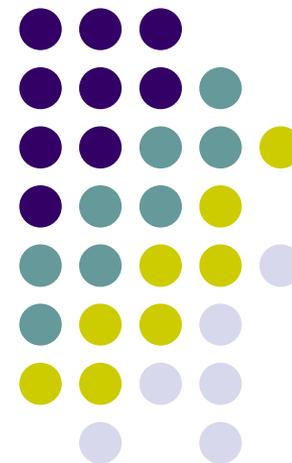
公益社団法人医療系大学間共用試験実施評価機構

CATO : Common Achievement Tests Organization

事業担当副理事長 江藤一洋

歯学系OSCE実施小委員会委員長 葛西一貴

歯学系OSCE実施小委員会副委員長 新田浩





本日のおはなし

- 歯学系臨床実習前OSCEの実施状況
- 成績等の経年変化について



共用試験の両輪

臨床実習開始前に修得すべき

□ 知識・（技能）

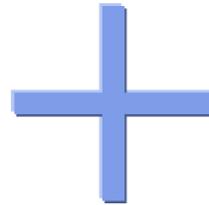
多肢選択筆記試験→**CBT**：
Computer Based
Testing



MCQ問題（320設問、6時間）

□ 技能・態度

評価方法や評価基準を統一化し、必要に応じて外部試験委員を加える→**OSCE**：
Objective Structured
Clinical Examination
(客観的臨床能力試験)





共用試験の実施方法

「医学・歯学教育の在り方に関する調査研究協力者会議」

- 国家試験と異なり、希望する大学によって実施
- 進級認定の判断に使用するかは、各大学が判断
- 試験結果は本人に通知し、平均点、一般的な合格基準などを公表
- 再受験に配慮、弾力的に運用
- 知識⇒CBT
- 診察技能・態度⇒OSCE
- 試験内容はモデル・コア・カリキュラムに基づく

共用試験実施の概要 (H13年からのトライアルを経て (H17年12月から正式実施))



共用試験 歯学系OSCE課題一覧

1. 初診面接

- 1-1 初診患者の医療面接(急性症状)
- 1-2 初診患者の医療面接(慢性症状)

2. 基本的診察および検査能力(1課題)

- 2-1 口腔内状態の記録
- 2-2 バイタルサイン
- 2-3 頭頸部(顎・顔面・頸部)の診察

3. 基本的技能(1課題)

- 3-1 浸潤麻酔
- 3-2 手洗いと滅菌グローブ装着
- 3-3 ラバーダム防湿
- 3-4 概形印象採得
- 3-5 心肺蘇生

4. 説明・指導(1課題)

- 4-1 歯周病の病状の説明
- 4-2 ブラッシング指導
- 4-3 欠損補綴の治療方針の説明
- 4-4 保護者へのブラッシング指導
- 4-5 保隙装置の説明
- 4-6 矯正装置の説明
- 4-7 エックス線撮影の説明

5. 基本的臨床技能(2課題)

- 5-1 レジン充填
- 5-2 根管治療
- 5-3 支台歯形成
- 5-4 テンポラリークラウンの作製
- 5-5 普通抜歯
- 5-6 フッ化物塗布
- 5-7 予防填塞
- 5-8 縫合
- 5-9 スケーリング・ルートプレーニング
- 5-10 修復用隔壁の装着
- 5-11 う蝕象牙質の除去
- 5-12 レストシートの形成

適正な共用試験OSCE 運用のために

実施小委員会

3点セット（課題シート・評価シート・評価マニュアル）・実施要項・Q&Aの改訂、課題配置、外部評価者配置、機構派遣監督者配置、各種問い合わせ対応、新作課題策定 等

事後評価解析小委員会

試験結果の評価と解析、
実施後調査票（実施大学）、
機構派遣監督者報告書、
外部評価者報告書

試験信頼性向上専門部会

FD専門部会

共用試験OSCE評価者（外部・内部）養成
評価者養成WSの企画・運営 等

共用試験OSCEは年々、進化し続けている
毎年の各種フィードバックから、実施要項、3点セット、Q&A等を改訂

歯学系 O S C E 評価者養成 W S について

WS I : 「内部評価者養成コース」 (2回/年)

- ・実施大学の内部評価者として評価マニュアルの解釈の補足
- ・適正な評価に必要な試験環境の整備

参加要件：原則として、内部評価者を2回以上経験した者

WS II : 「外部評価者養成コース」 (2回/年)

- ・CATOから派遣される外部評価者の養成
- ・外部評価者の役割の修得

参加要件：原則として、WS I 修了後に内部評価者を1回以上経験した者

共用試験 歯学系 OSCE 内部評価者養成ワークショップ(WS I)

	開催日	テーマ	担当大学	修了者	開催日	テーマ	担当大学	修了者
H 13	11/23	OSCEの概要とその実施・運営	東京医科歯科大学	28				
H 14	9/6,7	OSCE評価者の養成	日本大学松戸	56	11/9,10	医療面接の評価者およびSPの養成	岡山大学	55
H 15	6/13,14	臨床技能系課題	日本歯科大学	56	9/12,13	面接・指導系課題	広島大学	56
	11/28,29	臨床技能系課題	愛知学院大学	56				
H 16	6/11,12	説明・指導系課題	北海道医療大学	56	8/27,28	医療面接系課題	東京歯科大学	56
	12/10,11	臨床技能系課題	昭和大学	56				
H 17	6/18,19	医療面接系課題	日歯新潟歯学部	56	8/26,27	臨床技能系課題	明海大学	56
	11/18,19	説明・指導系課題	九州大学	54				
H 18	5/19,20	説明・指導系課題	日本歯科大学	56	8/25,26	医療面接系課題	東京医科歯科大学	56
	11/18,19	臨床技能系課題	福岡歯科大学	55				
H 19	6/30, 7/1	医療面接系課題	大阪大学	56	8/30,31	説明・指導系課題	長崎大学	56
	12/8,9	臨床技能系課題	鶴見大学	56				
H 20	6/21,22	医療面接系課題	新潟大学	55				
H 21	11/14,15	臨床技能系課題	徳島大学	58				
H 22	11/27,28	臨床技能系課題	神奈川歯科大学	56				
H 23	11/12,13	医療面接系課題	朝日大学	56	11/26,27	臨床技能系課題	徳島大学	57
H 24	11/3,4	説明・指導系課題	福岡歯科大学	57	11/24,25	臨床技能系課題	奥羽大学	56
H 25	11/9, 10	臨床技能系課題	愛知学院大学	57	11/30,12/1	臨床技能系課題	広島大学	57
H 26	11/23, 24	臨床技能系課題	明海大学	57	12/6, 7	医療面接系課題	東京歯科大学	58
H 27	11/14,15	説明・指導系課題	鶴見大学	58	11/28,29	臨床技能系課題	松本歯科大学	58
H 28	11/5,6	臨床技能系課題	北海道大学	58	12/3,4	臨床技能系課題	日本大学	57
H 29	11/11,12	医療面接系課題	鹿児島大学	57	12/2,3	臨床技能系課題	大阪歯科大学	58
H 30	11/24,25	臨床技能系課題	東北大学	58	12/15,16	説明・指導系課題	九州歯科大学	58

共用試験歯学系 OSCE 外部評価者養成ワークショップ(WSⅡ)

年度	開催日	テーマ	担当大学	修了者
2008(H20)	8月23, 24日	外科系課題	北海道大学	56
	11月22, 23日	保存系課題	鹿児島大学	57
2009(H21)	6月27, 28日	医療面接	松本歯科大学	29
	8月22日	補綴・育成系課題	岩手医科大学	56
2010(H22)	5月22, 23日	外科系課題	大阪歯科大学	57
	8月6, 7日	保存系課題	日本大学	58
2011(H23)	6月4, 5日	補綴・育成系課題	九州歯科大学	58
	8月20日	医療面接	北海道医療大学	29
2012(H24)	6月2, 3日	保存系課題	日本大学松戸歯学部	55
	8月11, 12日	外科系課題	岡山大学	56
2013(H25)	6月23日	補綴・育成系課題	昭和大学	57
	8月17,18日	医療面接	東北大学	29
2014(H26)	5月17, 18日	保存系課題	九州大学	56
	7月25, 26日	外科系課題	日本歯科大学新潟	58
2015(H27)	5月23, 24日	補綴・育成系課題	長崎大学	57
	7月18日	医療面接	東京医科歯科大学	29
2016(H28)	6月18, 19日	保存系課題	岩手医科大学	57
	7月23, 24日	外科系課題	新潟大学	53
2017(H29)	6月24,25日	医療面接	奥羽大学	29
	7月22, 23日	補綴・育成系課題	神奈川歯科大学	58
2018(H30)	5月12, 13日	保存系課題	日本歯科大学	56
	6月9,10日	外科系課題	朝日大学	56
厚生労働省医道審議会歯科医師分科会		20191028 -CATO-	累計	1106

共用試験 歯学系OSCE評価者養成 WS

平成30年度

WS I

第1回 11月 24, 25日 東北大学
技能系課題

第2回 12月 15, 16日 九州歯科大学
説明・指導系課題

WS II

第1回 5月 12, 13日 日本歯科大学
保存系課題

第2回 6月 9, 10日 朝日大学
外科系課題

令和 1 年度

WS I

第1回 11月 9日, 10日
北海道医療大学 技能系課題

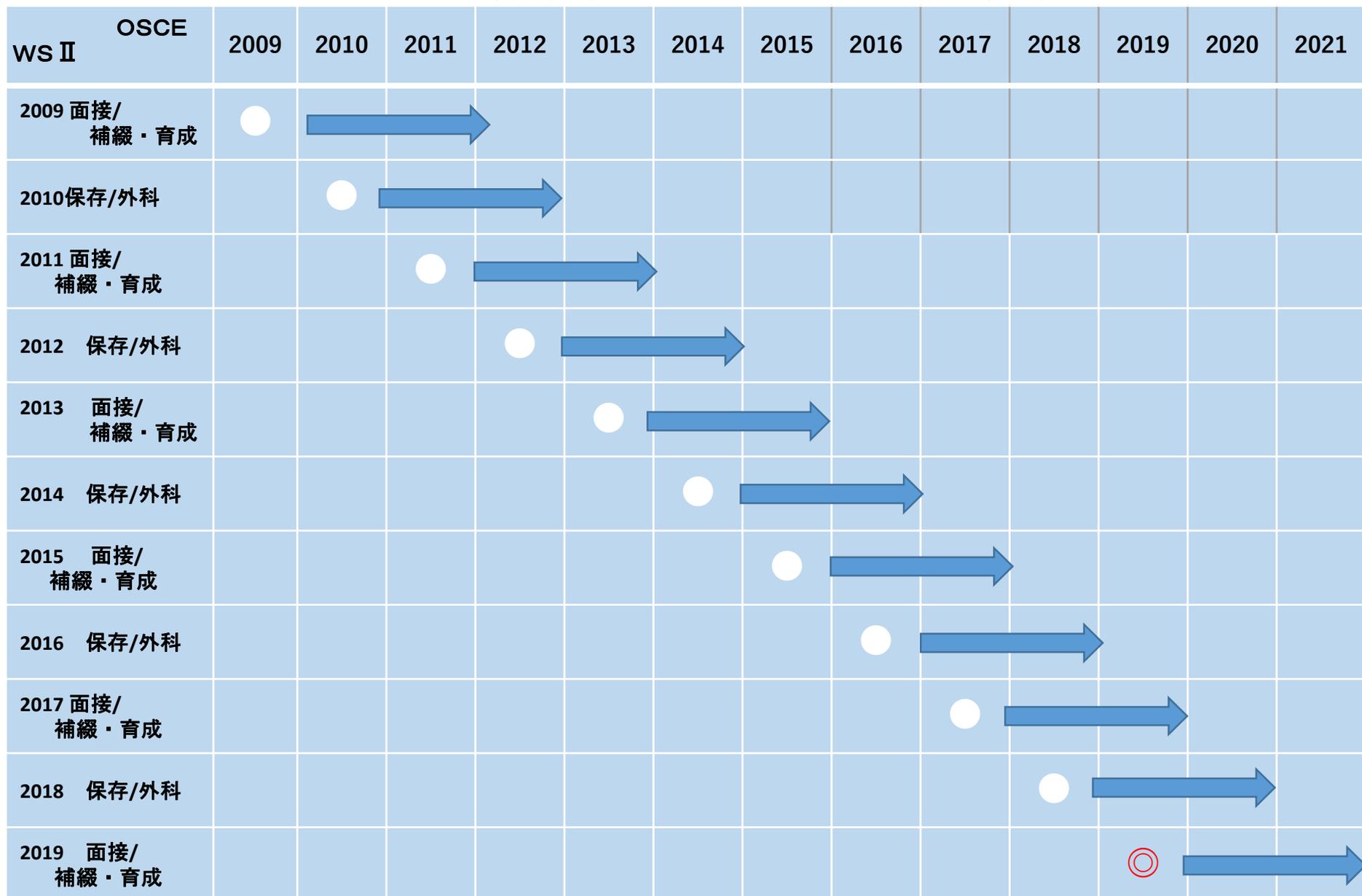
第2回 11月 30日, 12月 1日
日本大学松戸歯学部
技能系課題

WS II

第1回 5月 18日, 19日 徳島大学
医療面接系課題

第2回 6月 15日, 16日 大阪大学
補綴・育成系課題

WS II と外部評価者の任期(原則2年間)との関係



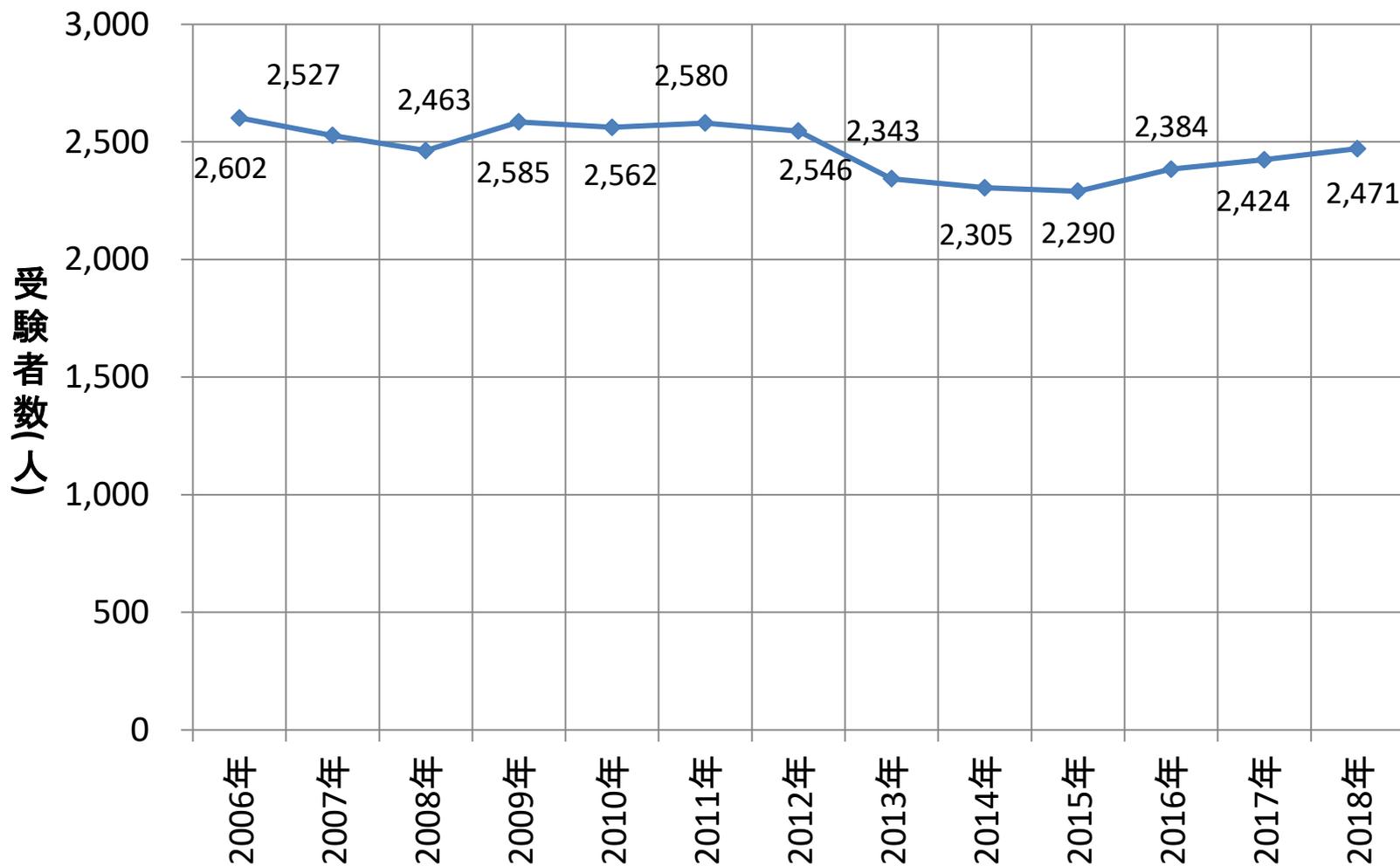
● WS II テーマ領域を固定(偶数年度:保存系、外科系、奇数年度:面接系、補綴・育成系)

● 外部評価者派遣調整のため、前期開始年の8月までにWS IIを2回(5月~8月)開催

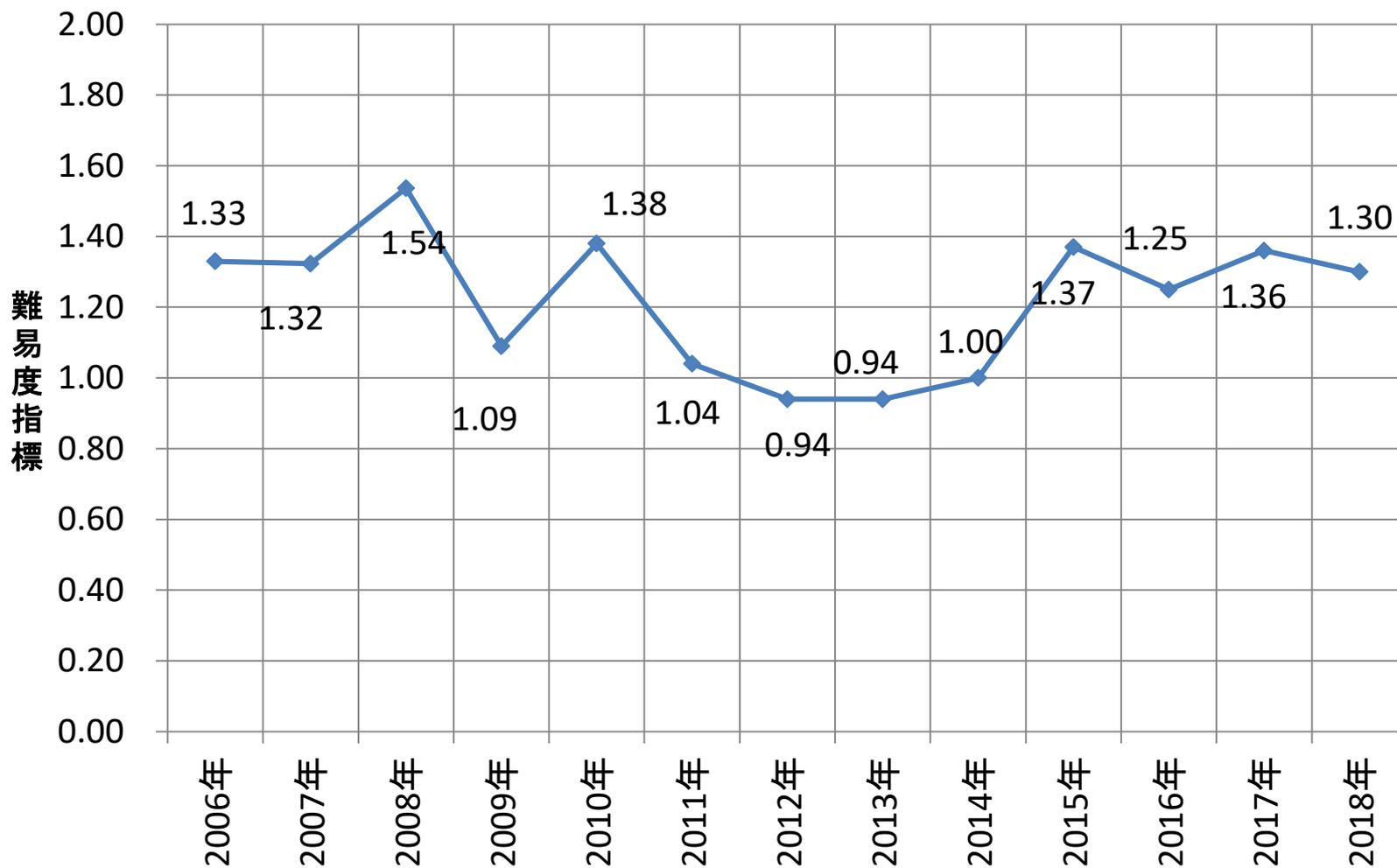
歯学系OSCE外部評価者の役割

1. CATOから委嘱・派遣された外部評価者として評価を実施する。
2. 担当課題の評価に習熟する。
3. OSCE前日、機構派遣監督者との打ち合わせに参加する。
4. 事前の内部評価者間の評価すり合わせが的確に行われていることを確認する。
5. テストランによりステーション運営が円滑、公正に行われることを確認する。
6. 機構派遣監督者の聞き取り調査に協力し、情報を提供する。
7. 共用試験OSCEを改善するために、実施大学およびCATOにフィードバックする報告書を記載する。

受験者数の年次推移



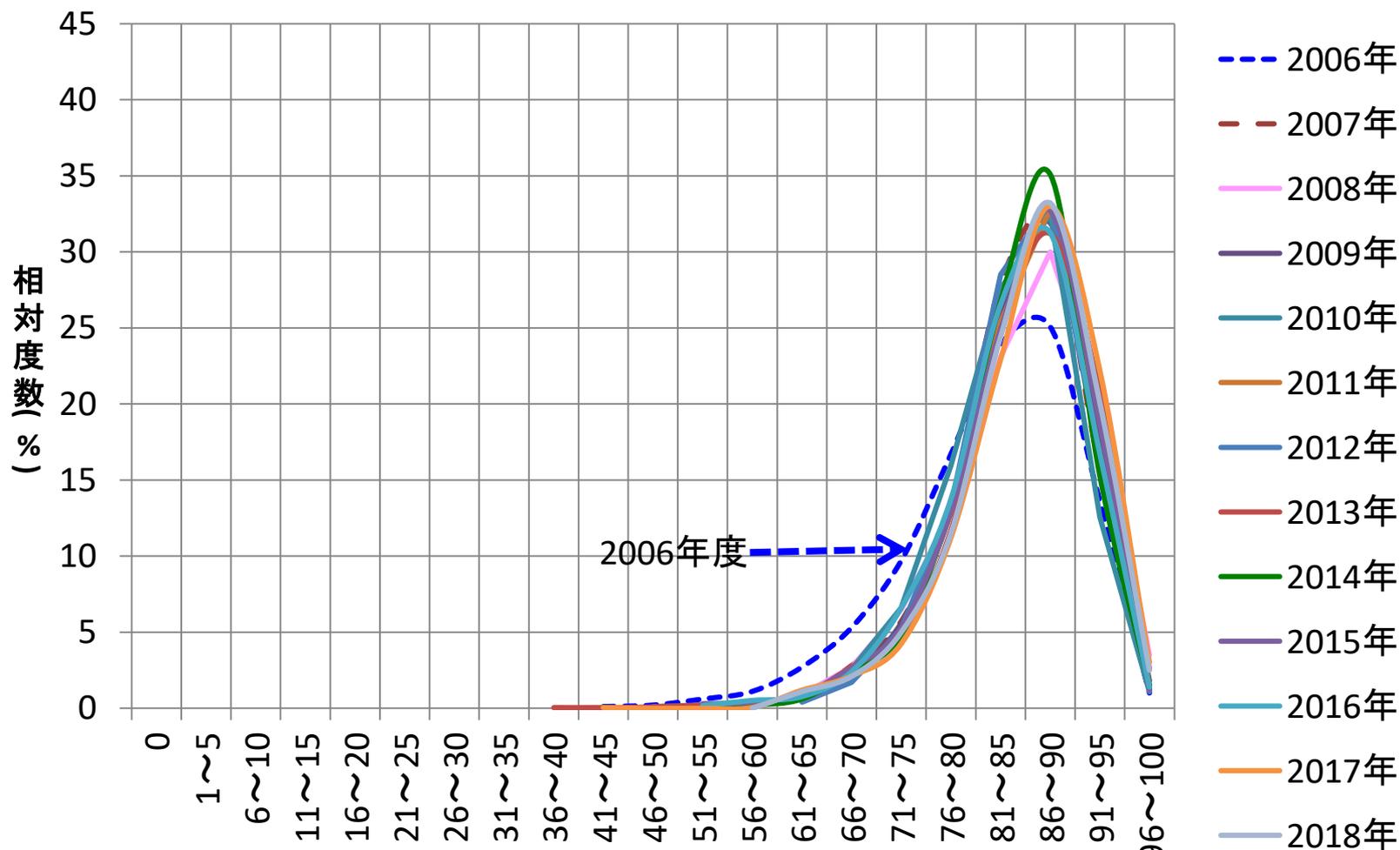
難易度指標の年次推移



総得点と系統別得点の相関 (当該系統を除く)

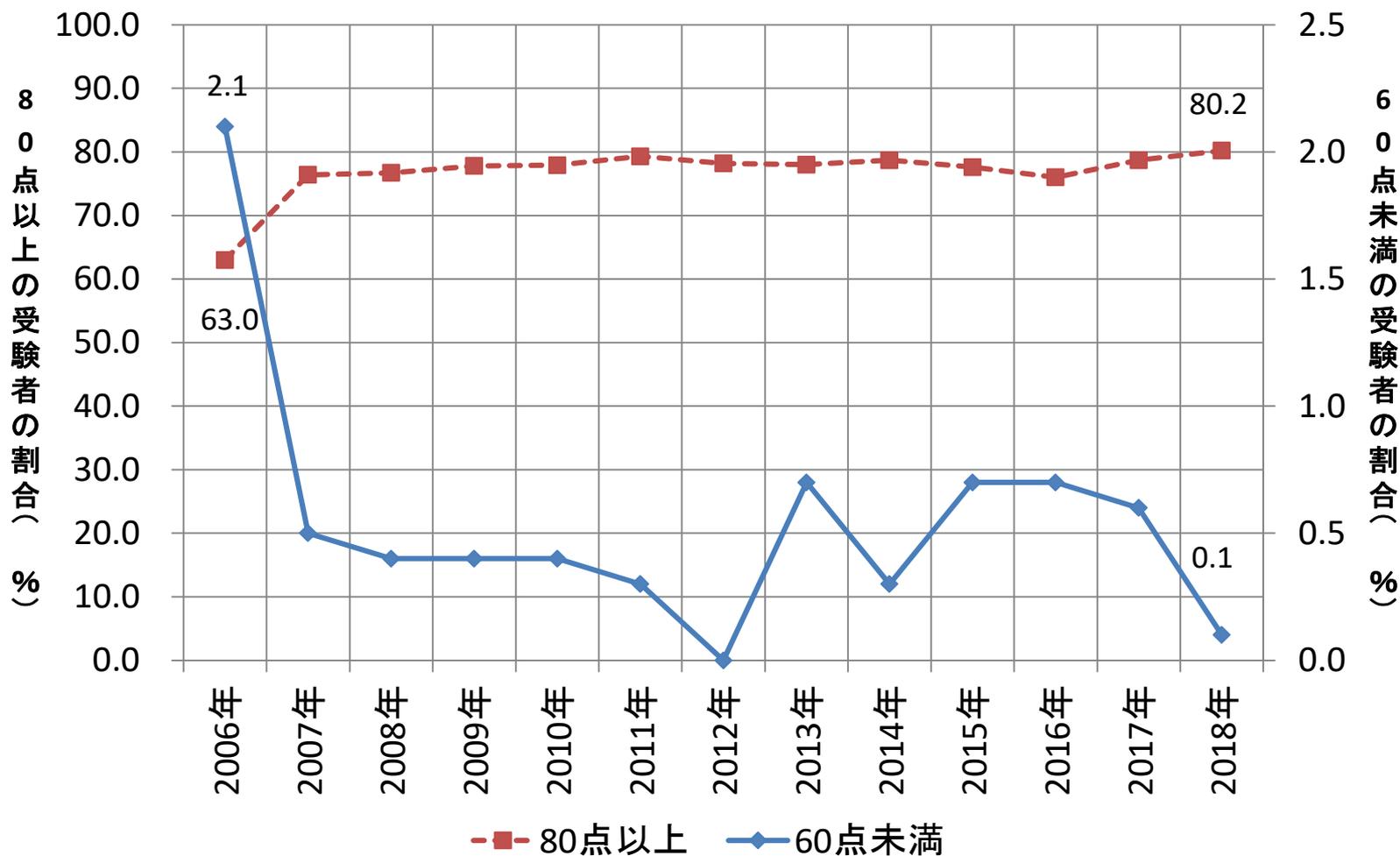
	初診時 医療面接	基本的診 察および 検査能力	基本的 技能	説明・ 指導	基本的 臨床技能	選択課題
2010年	0.31	0.22	0.34	0.29	0.33	0.38
2011年	0.26	0.20	0.14	0.30	0.37	0.46
2012年	0.20	0.22	0.27	0.26	0.22	0.29
2013年	0.32	0.34	0.25	0.36	0.34	0.25
2014年	0.25	0.16	0.26	0.29	0.31	0.15
2015年	0.28	0.31	0.33	0.24	0.36	0.10
2016年	0.21	0.23	0.26	0.32	0.31	
2017年	0.24	0.21	0.26	0.37	0.25	
2018年	0.33	0.19	0.27	0.24	0.30	

総得点の分布の年次推移

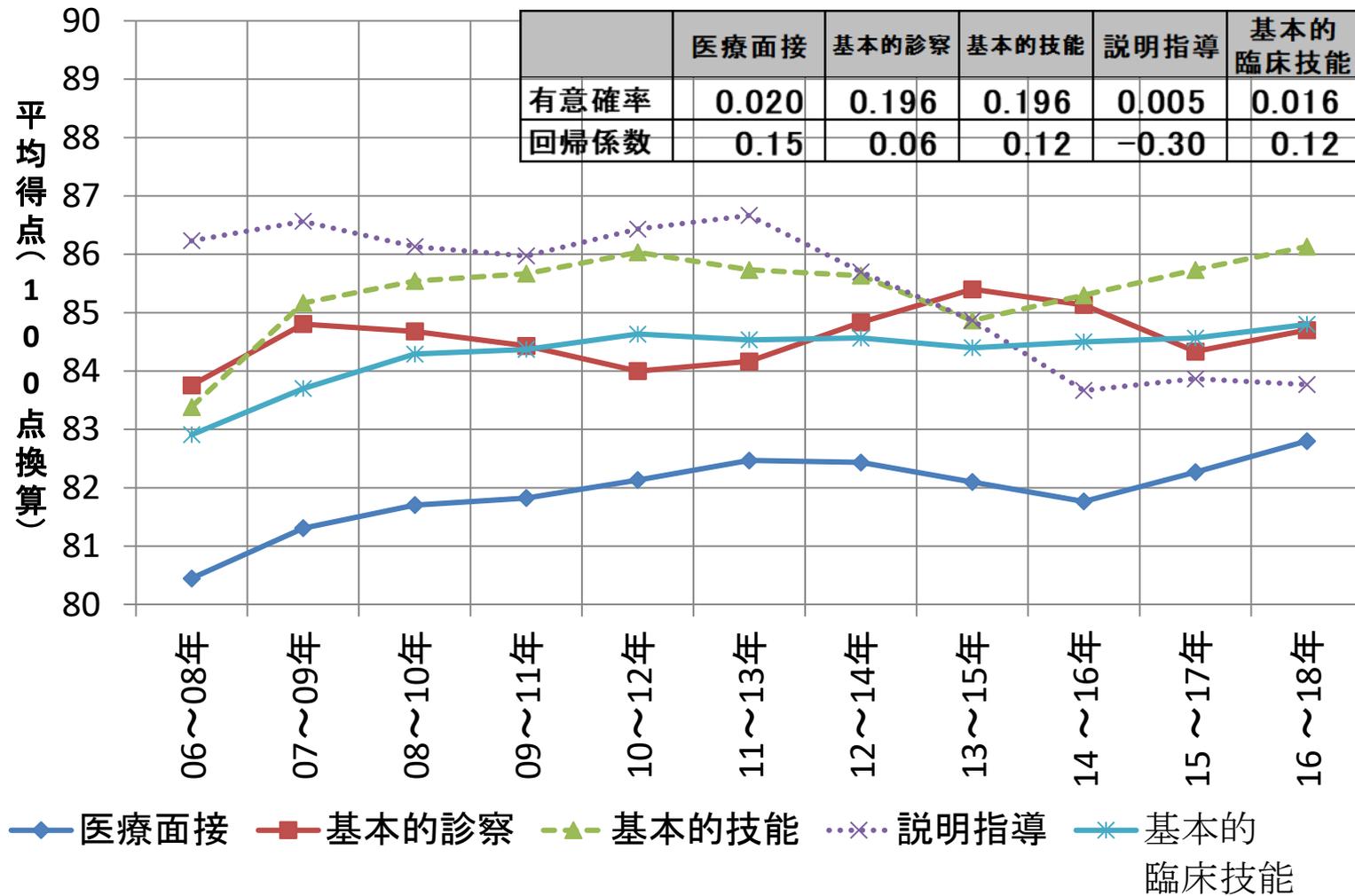


正式実施開始年度の2006年度を除きほぼ同様の分布を示す

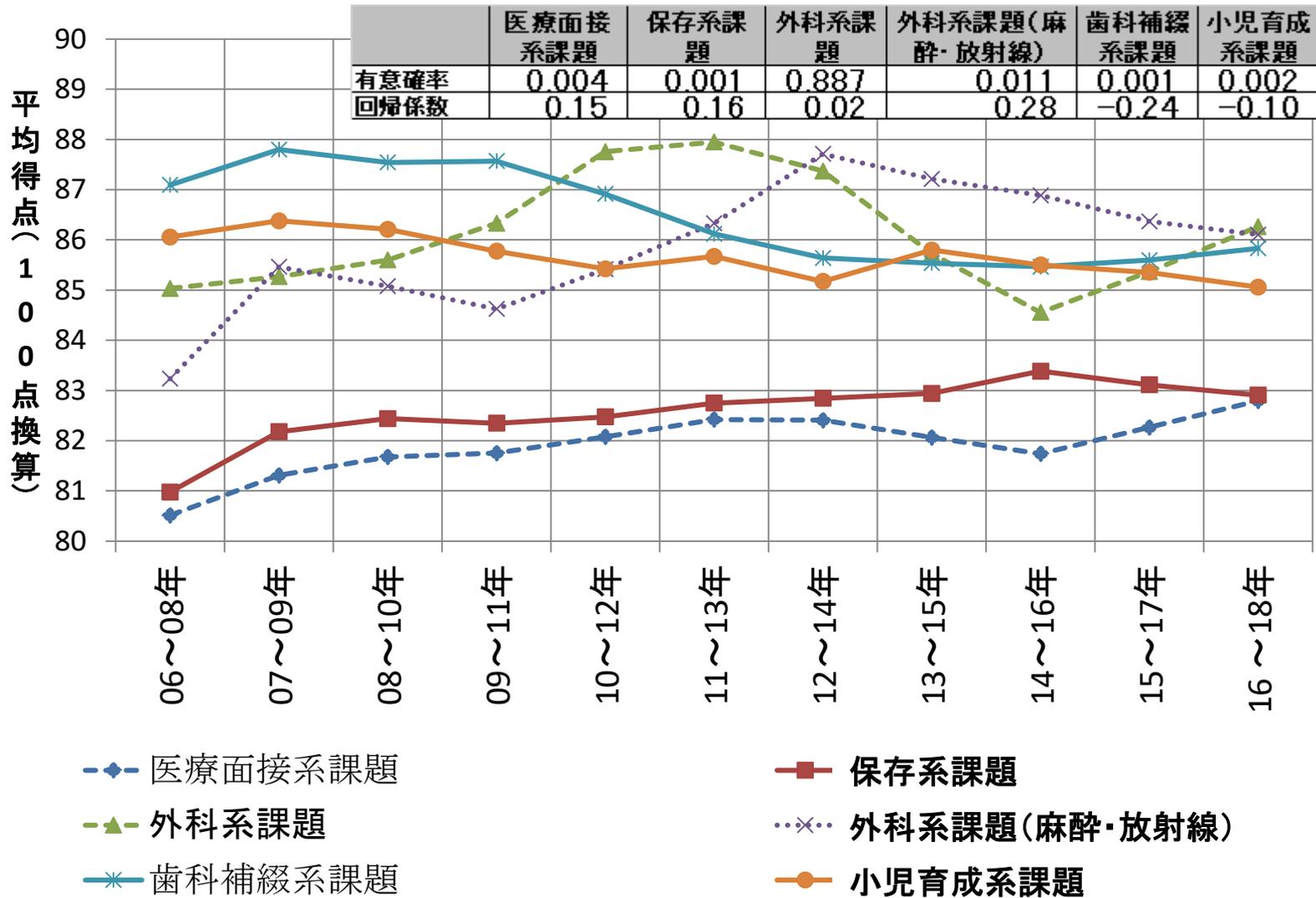
高得点と低得点受験者の総受験者に対する割合の年次推移



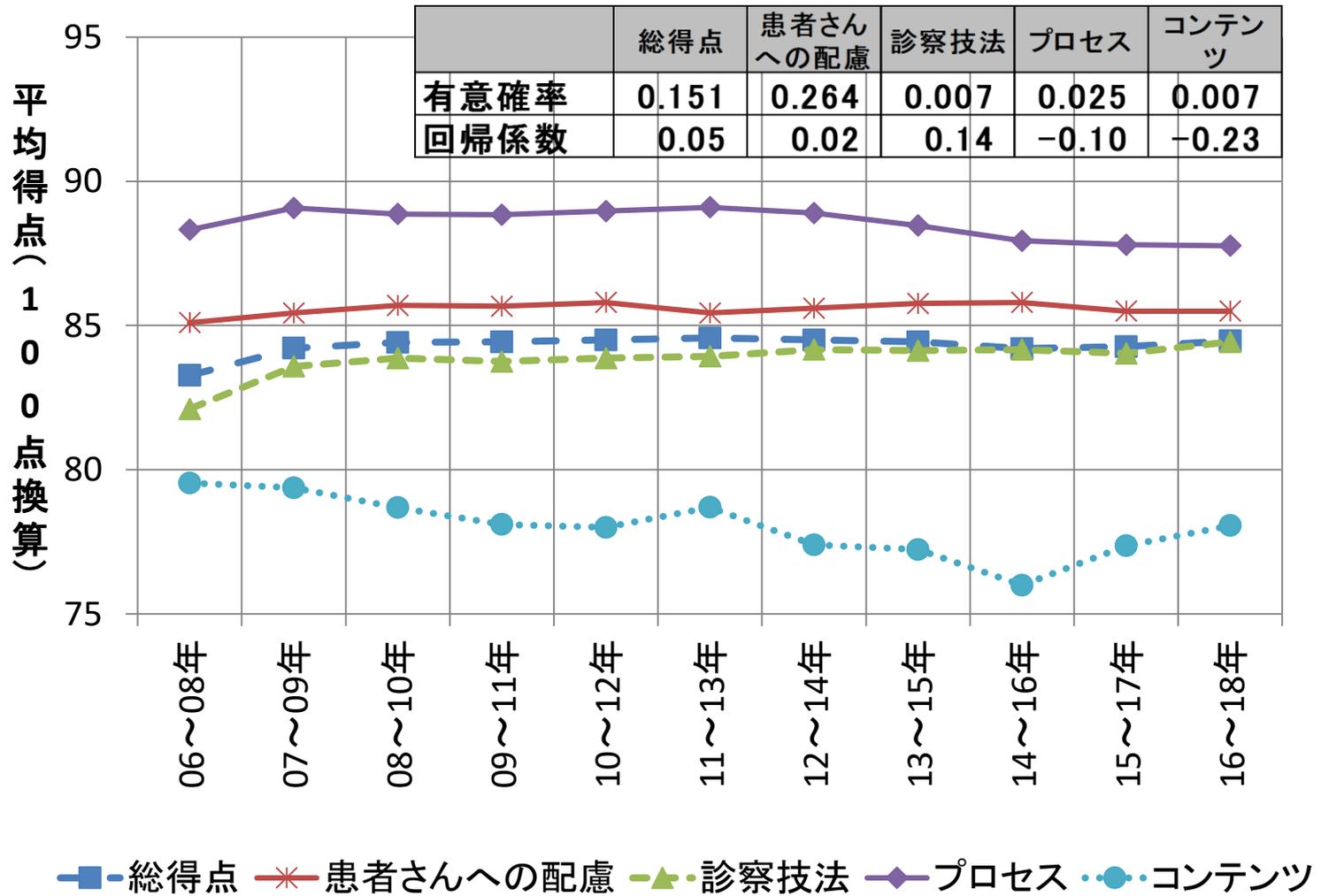
系統別平均得点の年次推移（3年移動平均）



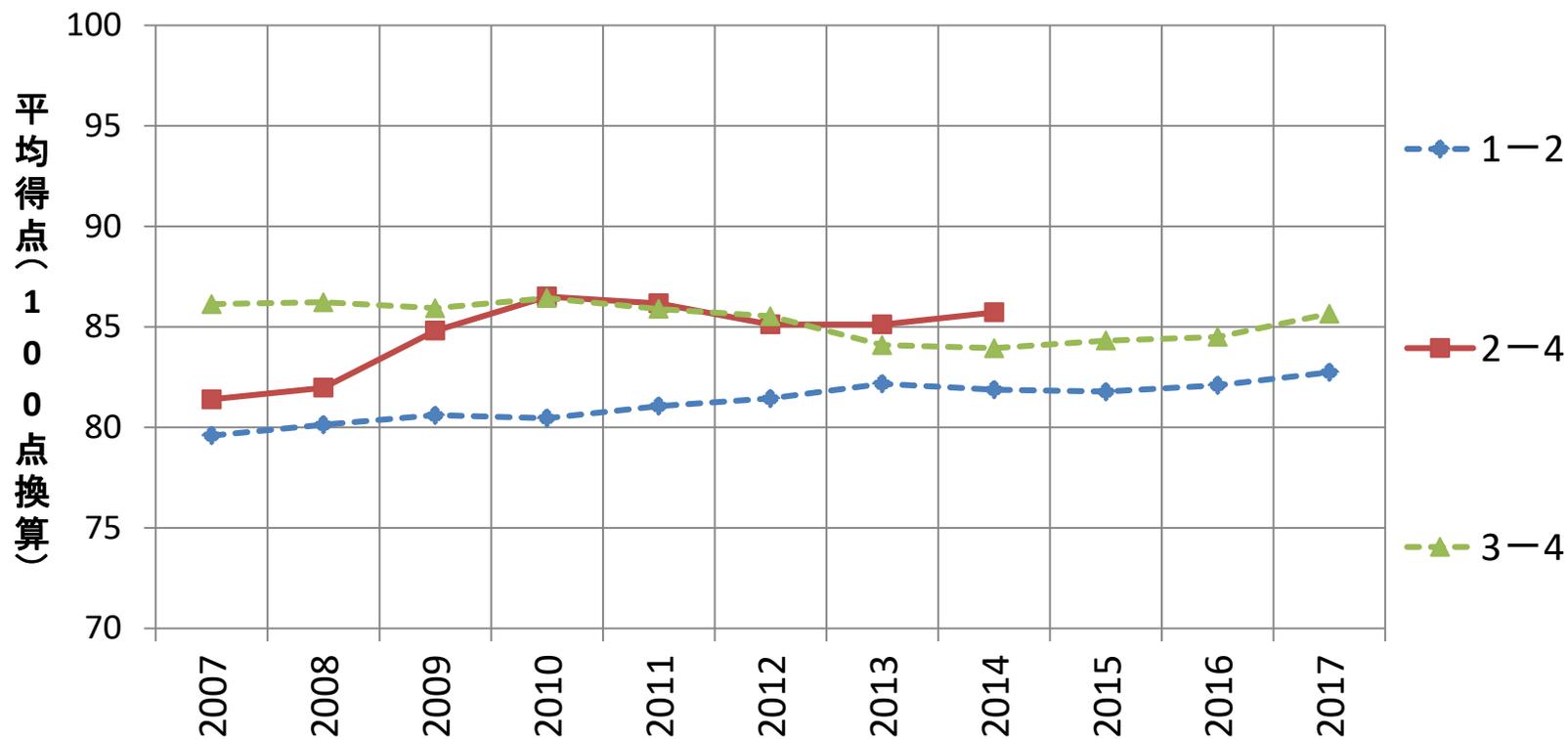
課題群別平均得点の年次推移（3年移動平均）



カテゴリ別平均得点の年次推移（3年移動平均）

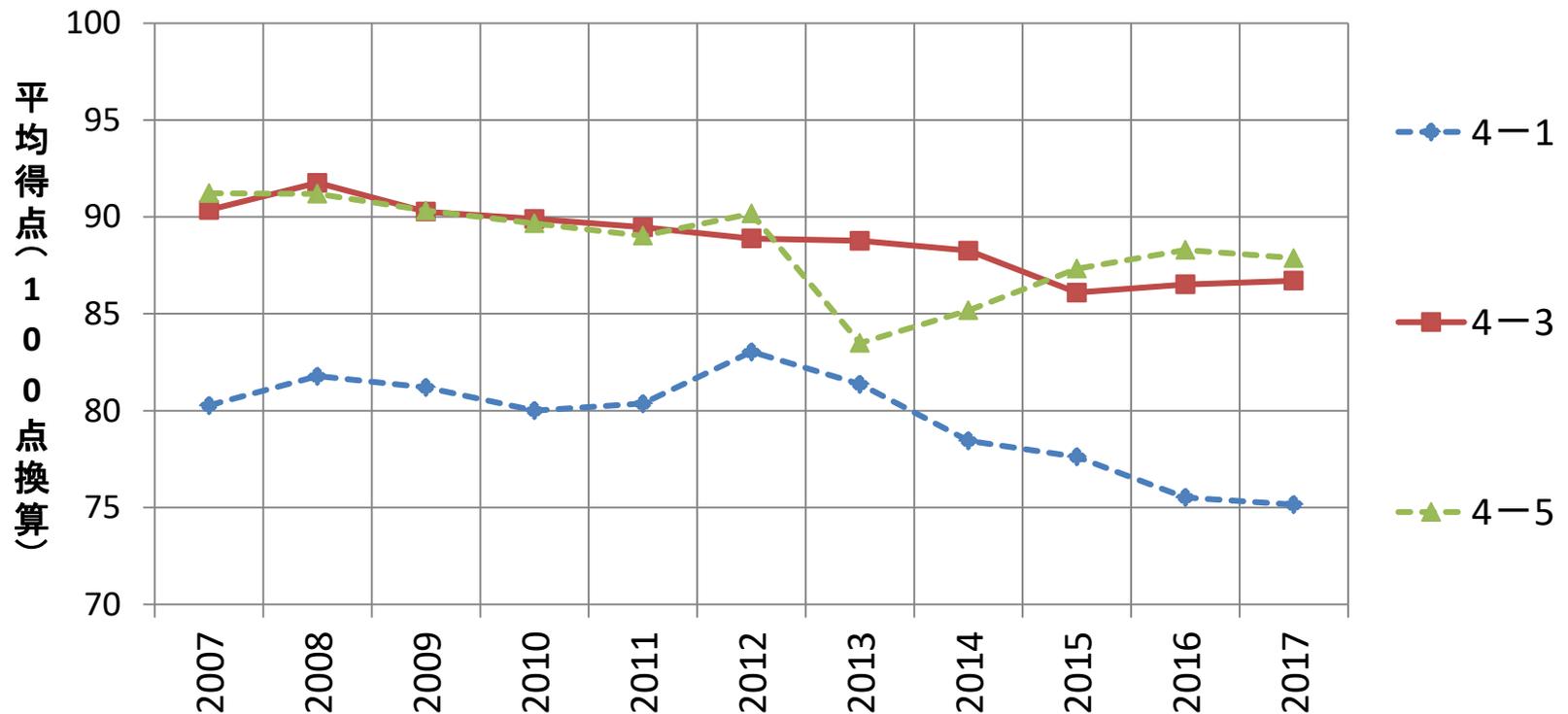


課題別平均得点の年次推移（3年移動平均） 詳細（有意な変化があった課題のみ）



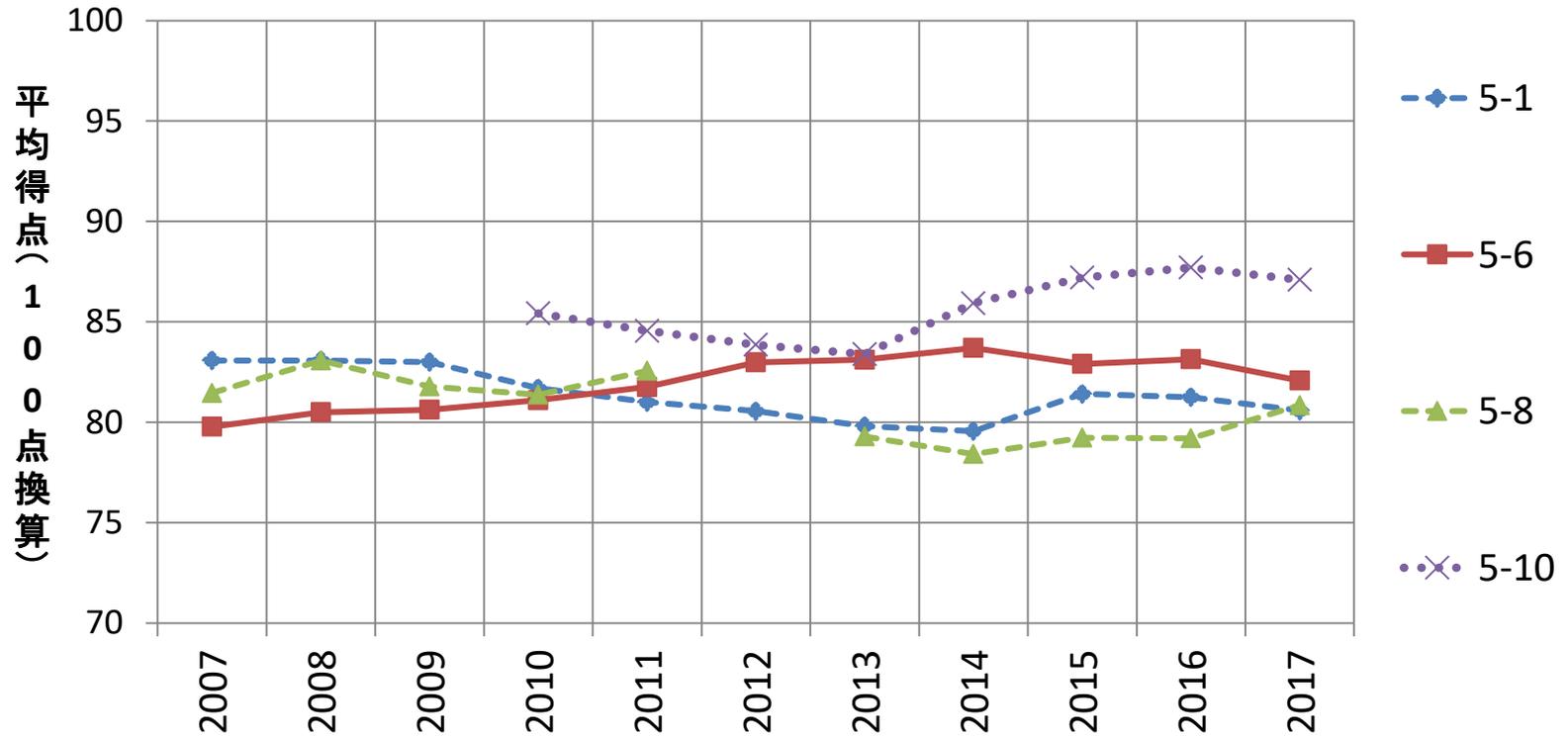
- 1-2 初診患者の医療面接（慢性症状）
- 2-4 エックス線写真の取り扱いと読影
- 3-4 概形印象採得

課題別平均得点の年次推移（3年移動平均） 詳細（有意な変化があった課題のみ）



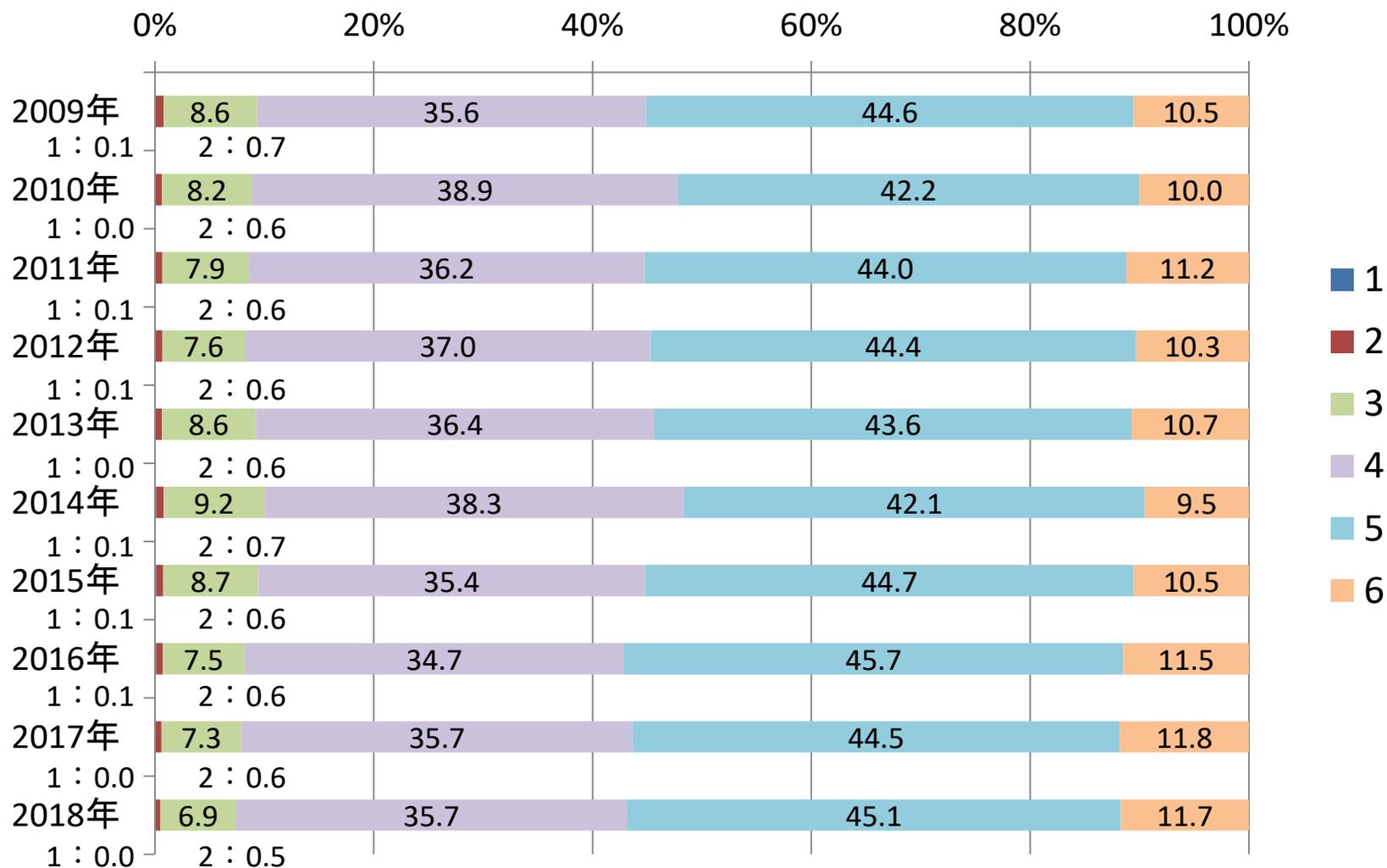
- 4-1 歯周病の病状の説明
- 4-3 欠損補綴の治療方針の説明
- 4-5 保隙装置の説明

課題別平均得点の年次推移（3年移動平均） 詳細（有意な変化があった課題のみ）

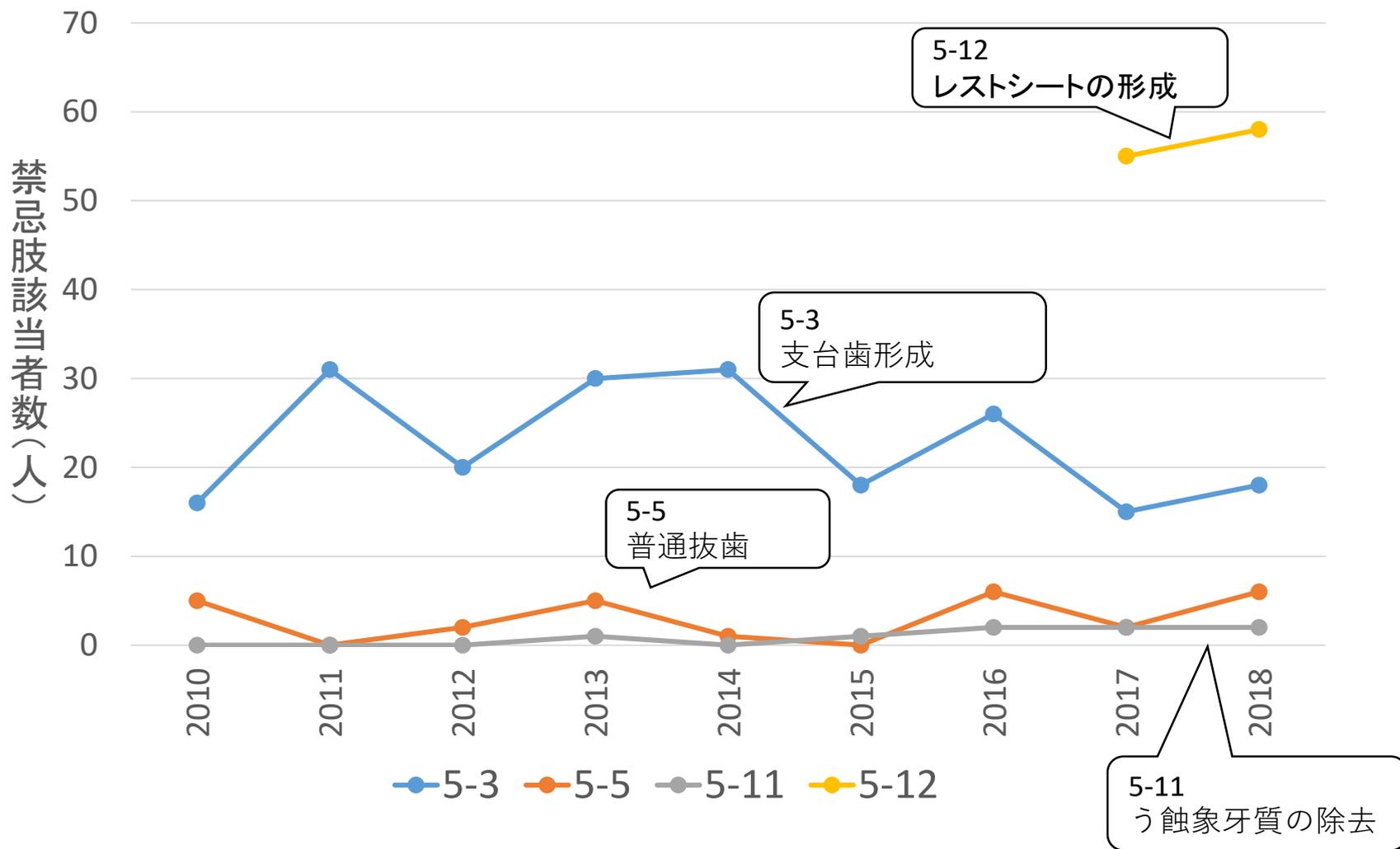


- 5-1 レジン充填
- 5-6 フッ化物塗布
- 5-8 縫合
- 5-10 修復用隔壁の装着

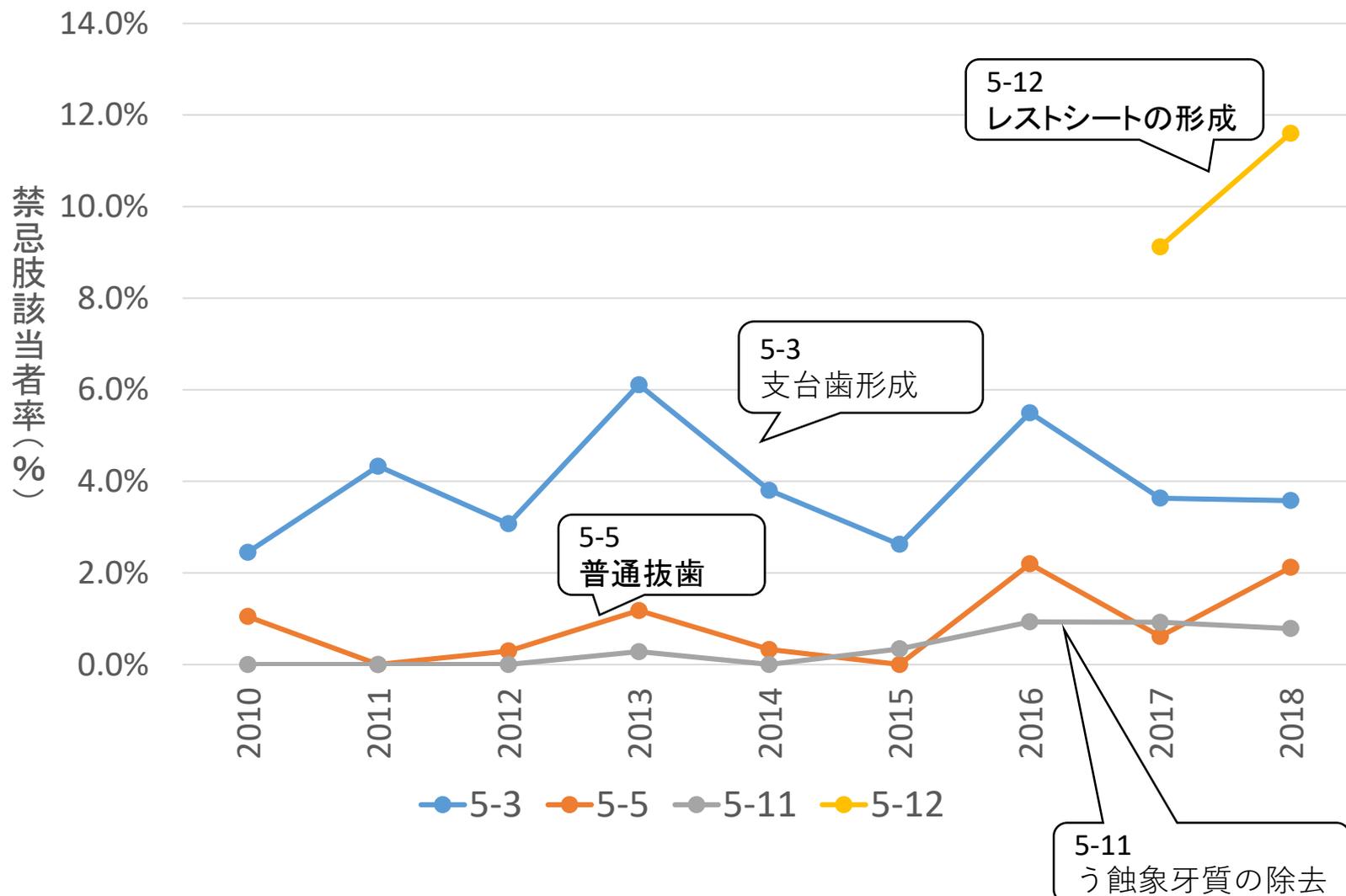
全評価者が評価した概略評価の分布の年次推移



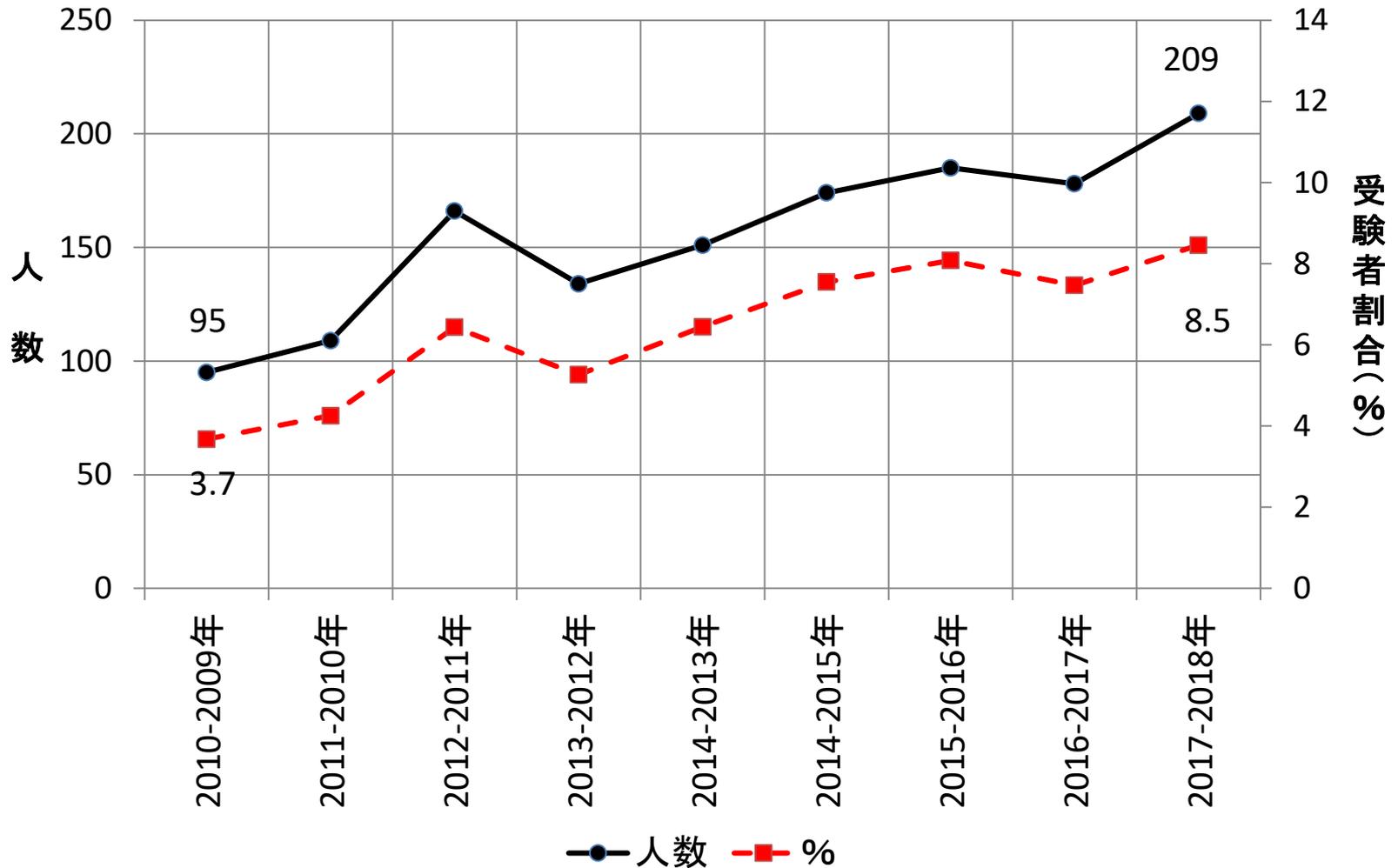
禁忌肢に該当した受験者数の年次推移



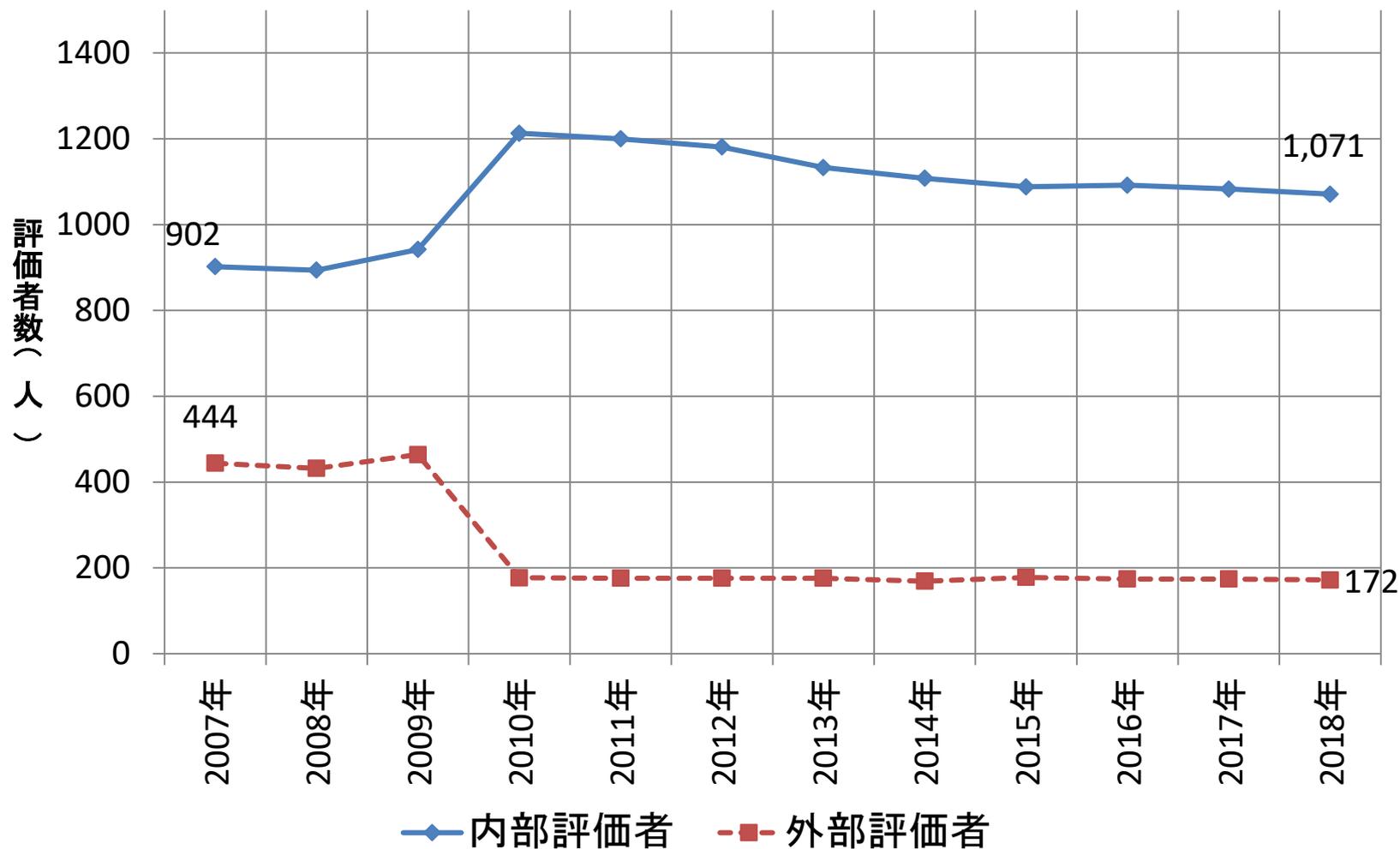
禁忌肢に該当した受験者率の年次推移



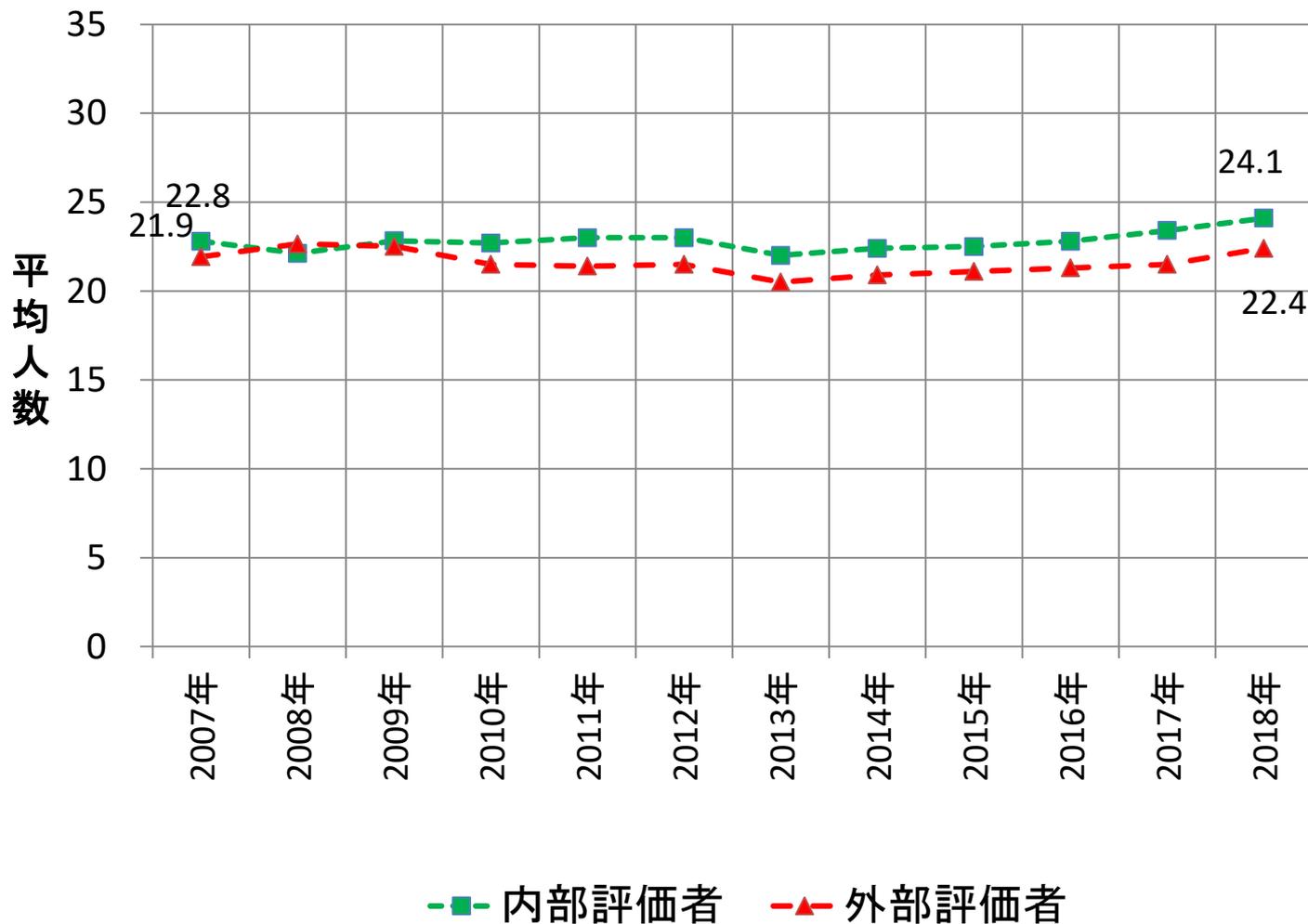
2年連続受験者数と受験者率の年次推移



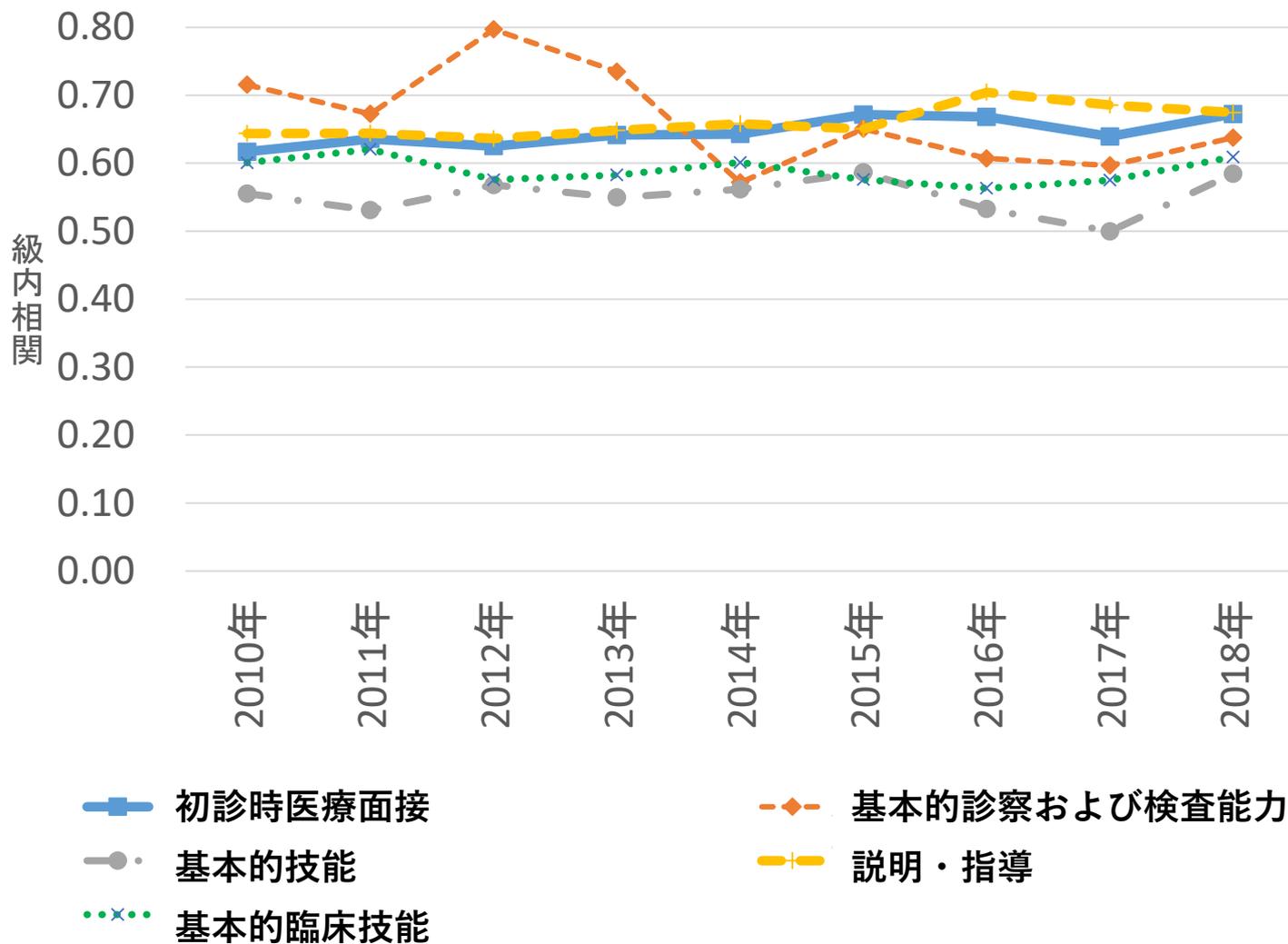
内部／外部別延べ評価者数の年次推移



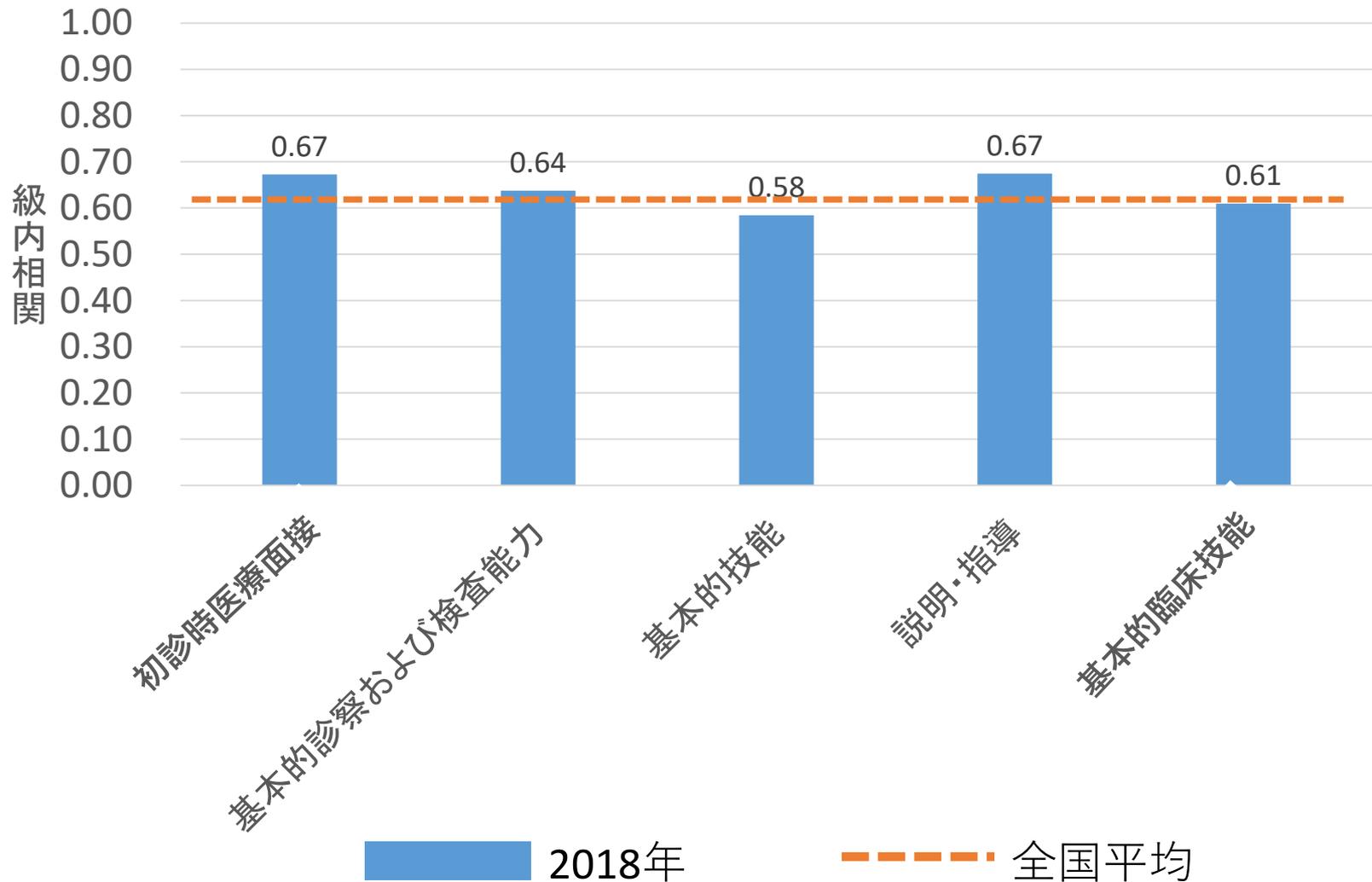
内部／外部評価者別実施受験者数の年次推移



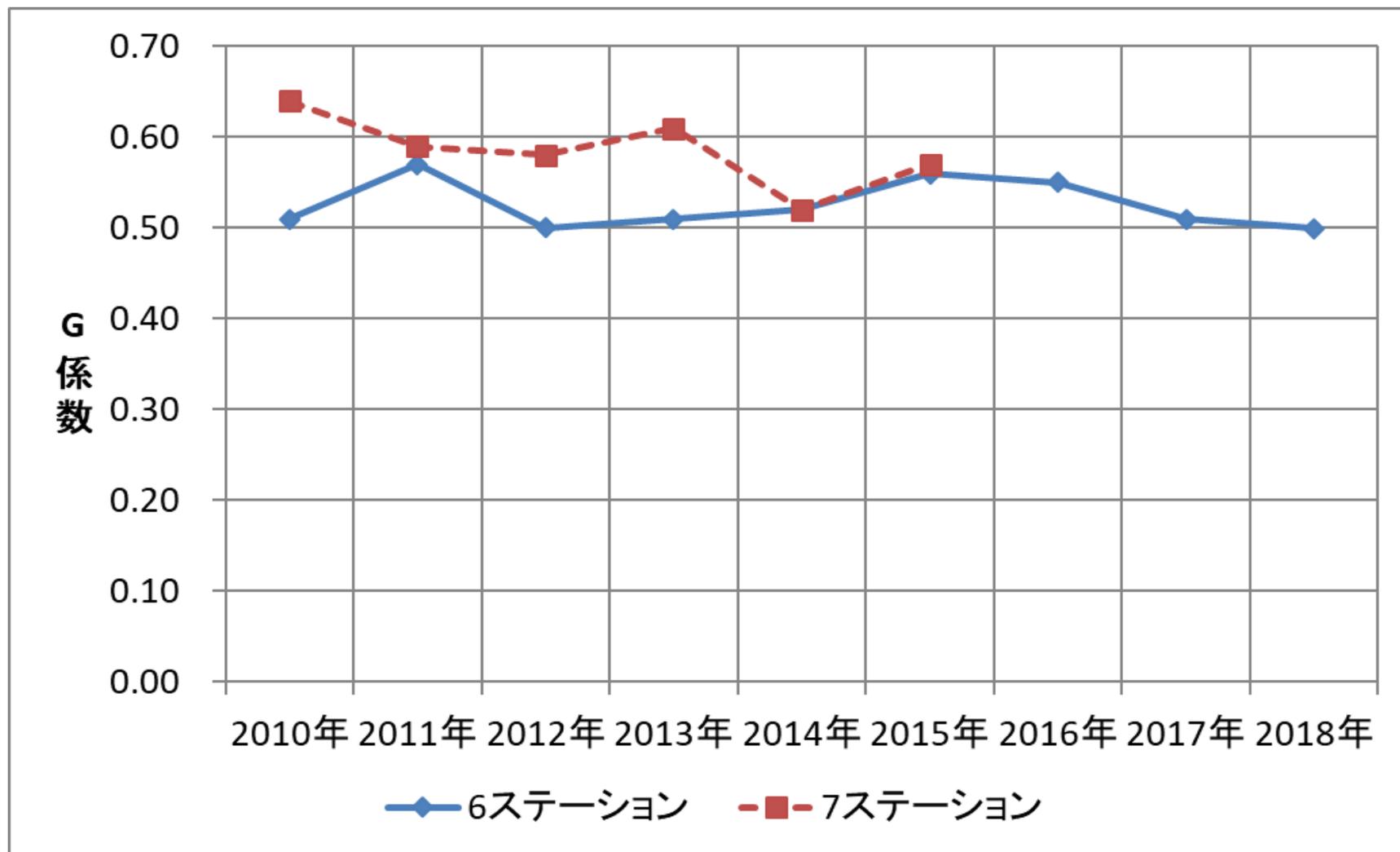
5名以上評価した評価者ペアの級内相関の年次推移



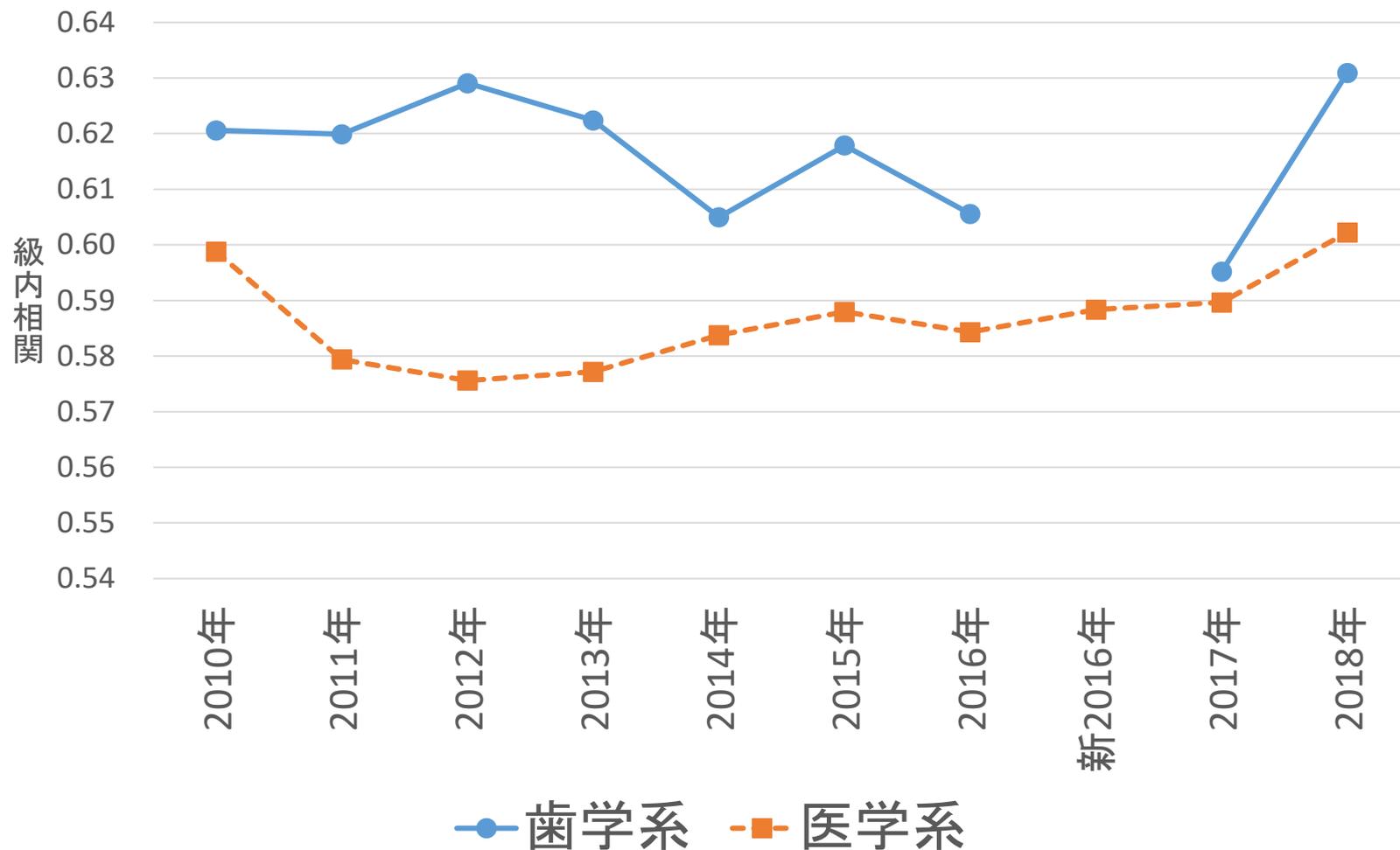
5名以上評価した評価者ペアの級内相関 (2018年度結果)



概略評定のG係数の年次推移



医学と歯学の級内相関の年次推移の比較 (5名以上評価したペア)





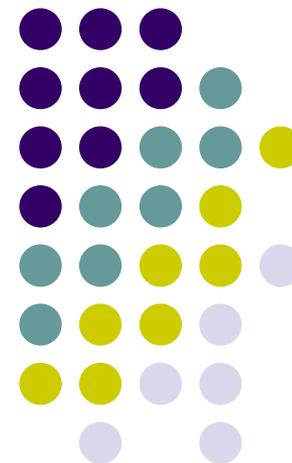
ご清聴、
ありがとうございました。



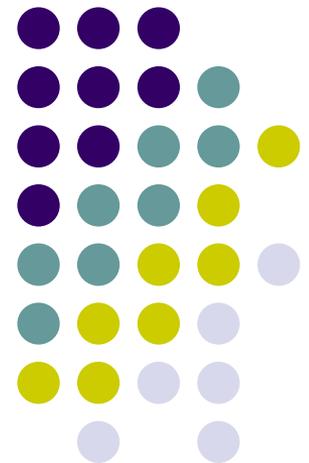


公益社団法人医療系大学間共用試験実施評価機構
CATO : Common Achievement Tests Organization

参考資料



モデル・コア・カリキュラムとOSCE



共用試験OSCE課題は臨床実習開始前のシミュレーション実習（模型実習・相互演習（実習））において学修している。モデル・コア・カリキュラムでは F シミュレーション実習に該当する。

モデル・コア・カリキュラムの学修目標は多岐にわたり、さらに各大学の教育内容を包含するため意図的に記載形式が概念的な表現としている。そこで、共用試験実施評価機構では OSCE課題の「学習目標」を設定し、受験者の学修が効果的に進むように配慮している。

モデル・コア・カリキュラムとOSCE課題の学習目標について説明する。

OSCE課題「普通抜歯」

モデル・コア・カリキュラムの学修目標

F-3-5)-① 単純抜歯を実施できる。 （G 臨床実習 I 指導者のもとで実践する）

OSCE課題の学習目標

- ① これから行うことを患者に伝達できる。
- ② 滅菌グローブを装着できる。
- ③ 注射器を準備できる。
- ④ 処置に応じたポジションをとれる。

- ⑤ 適切な部位に浸潤麻酔ができる。
- ⑥ 器具(挺子、抜歯鉗子)を操作できる。
- ⑦ 指定された歯を抜去できる。
- ⑧ 清潔に配慮できる。
- ⑨ 患者の痛みや不快感に配慮できる。
- ⑩ 安全性に配慮できる。

以上のように、モデル・コア・カリキュラムの学修目標では1項目で示されるが、治療の実施に当たっては、OSCE課題の学習目標に示す行動目標(手順)が必要になる。なお、行動目標は評価の項目になることは周知のごとくであるが、OSECでは5分で評価されるため、実施内容は極めて限定された内容で実施されている。

また、OSCE課題の実施においては、技能のみではなく知識領域の学修が不可欠である。とくに説明・指導課題では、F-2-1)医療面接にある学習目標に加え、**E 臨床歯学の学修目標**(知識)の学修も問われることになる。医療面接にある学習目標はプロセス、臨床歯学の学修目標はコンテンツとして評価される。(臨床実習開始前の「共用試験」第17版 P69)

なお、課題の設定に関しては、29大学で実際に行われている模型あるいは模擬患者さんを用いたシミュレーション実習の内容と齟齬がないように、適宜アンケートを実施してきた。また、新作課題策定に際しては、必ず新作課題についてWSを開催して、各大学の臨床教育担当者からの意見を反映させた形でOSCE課題を構築している。

さらに毎年、共用試験OSCE実施後に事後調査解析を行っており、現実に各大学で実施されている教育現場との整合性についても毎年検討を重ねてきた。その結果、この十数年間で廃止となった課題もいくつかある。

共用試験 歯学系OSCE課題一覧

1. 初診面接

- 1-1 初診患者の医療面接(急性症状)
- 1-2 初診患者の医療面接(慢性症状)

2. 基本的診察および検査能力(1課題)

- 2-1 口腔内状態の記録
- 2-2 バイタルサイン
- 2-3 頭頸部(顎・顔面・頸部)の診察

3. 基本的技能(1課題)

- 3-1 浸潤麻酔
- 3-2 手洗いと滅菌グローブ装着
- 3-3 ラバーダム防湿
- 3-4 概形印象採得
- 3-5 心肺蘇生

4. 説明・指導(1課題)

- 4-1 歯周病の病状の説明
- 4-2 ブラッシング指導
- 4-3 欠損補綴の治療方針の説明
- 4-4 保護者へのブラッシング指導
- 4-5 保隙装置の説明
- 4-6 矯正装置の説明
- 4-7 エックス線撮影の説明

5. 基本的臨床技能(2課題)

- 5-1 レジン充填
- 5-2 根管治療
- 5-3 支台歯形成
- 5-4 テンポラリークラウンの作製
- 5-5 普通抜歯
- 5-6 フッ化物塗布
- 5-7 予防填塞
- 5-8 縫合
- 5-9 スケーリング・ルートプレーニング
- 5-10 修復用隔壁の装着
- 5-11 う蝕象牙質の除去
- 5-12 レストシートの形成

モデル・コア・カリキュラムと共用試験歯学系OSCE課題

1. 初診面接

- 1-1 初診患者の医療面接(急性症状) F-2-1)
- 1-2 初診患者の医療面接(慢性症状) F-2-1)

2. 基本的診察および検査能力(1課題)

- 2-1 口腔内状態の記録 F-2-2)-⑫
- 2-2 バイタルサイン F-2-2)-①
- 2-3 頭頸部(顎・顔面・頸部)の診察 F-2-2)-③

3. 基本的技能(1課題)

- 3-1 浸潤麻酔 F-3-1)-④
- 3-2 手洗いと滅菌グローブ装着 F-3-1)-①
- 3-3 ラバーダム防湿 F-3-1)-③
- 3-4 概形印象採得 F-3-1)-⑤
- 3-5 心肺蘇生 F-1-2)-⑤

- 4. 説明・指導(1課題) F-2-1)-⑦
 - 4-1 歯周病の病状の説明 F-2-1)-⑦
 - 4-2 ブラッシング指導 F-3-3)-④
 - 4-3 欠損補綴の治療方針の説明 F-2-1)-⑦
 - 4-4 保護者へのブラッシング指導 F-3-6)-③
 - 4-5 保隙装置の説明 F-2-1)-⑦
 - 4-6 矯正装置の説明 F-2-1)-⑦
 - 4-7 エックス線撮影の説明 F-2-2)-⑤

- 5. 基本的臨床技能(2課題)
 - 5-1 レジン充填 F-3-3)-①
 - 5-2 根管治療 F-3-3)-③
 - 5-3 支台歯形成 F-3-4)-③
 - 5-4 テンポラリークラウンの作製 F-3-4)-③
 - 5-5 普通抜歯 F-2-4)-①
 - 5-6 フッ化物塗布 F-3-6)-①
 - 5-7 予防填塞 F-3-6)-②
 - 5-8 縫合 F-2-4)-②
 - 5-9 スケーリング・ルートプレーニング
F-3-3)-⑤
 - 5-10 修復用隔壁の装着 F-3-3)-①
 - 5-11 う蝕象牙質の除去 F-3-3)-①
 - 5-12 レストシートの形成 F-3-4)-④

共用試験歯学系OSCEの効果と 臨床実習の現状

アンケート調査トライアルの結果

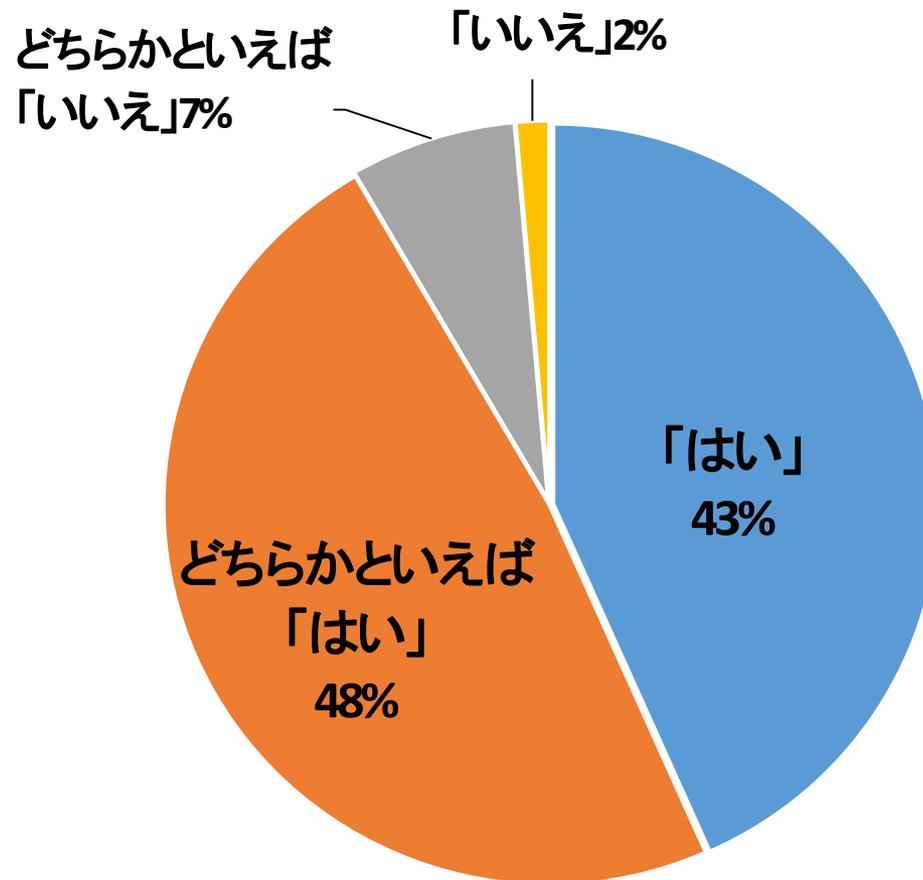
歯学系OSCE連絡調整懇談会

共用試験歯学系OSECの効果の検証

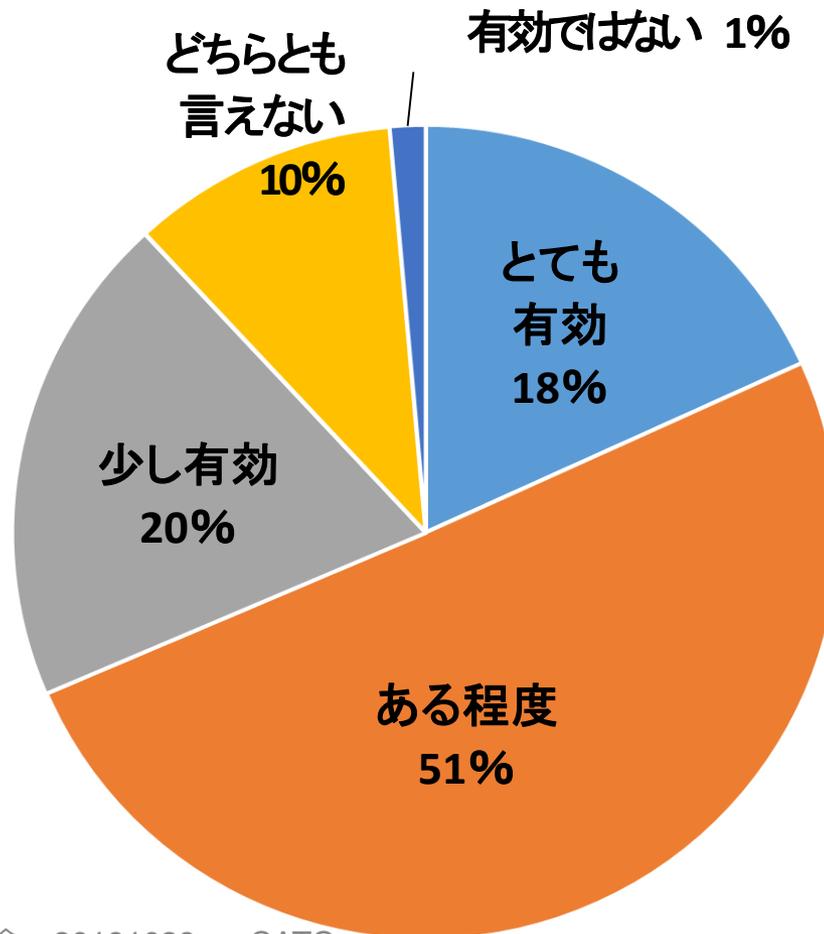
- 調査方法: 自記式アンケート調査
- 対象: 懇談会委員の4施設の

平成31年度 **研修歯科医** 143名

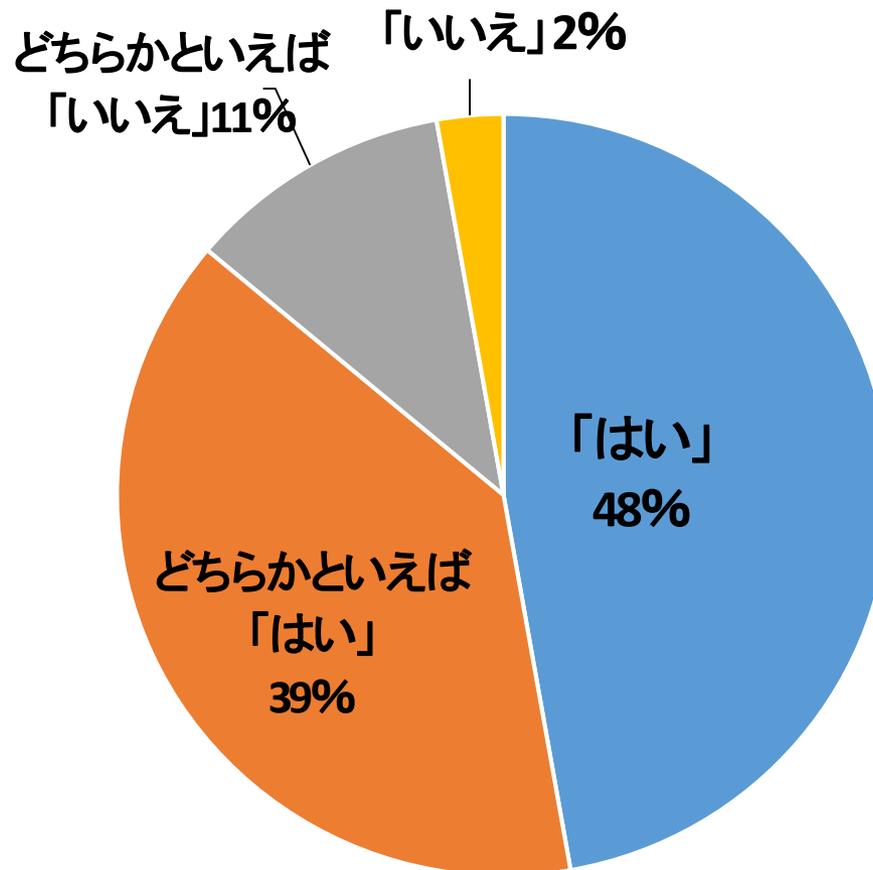
臨床実習前OSCEの 目的を知っていますか？



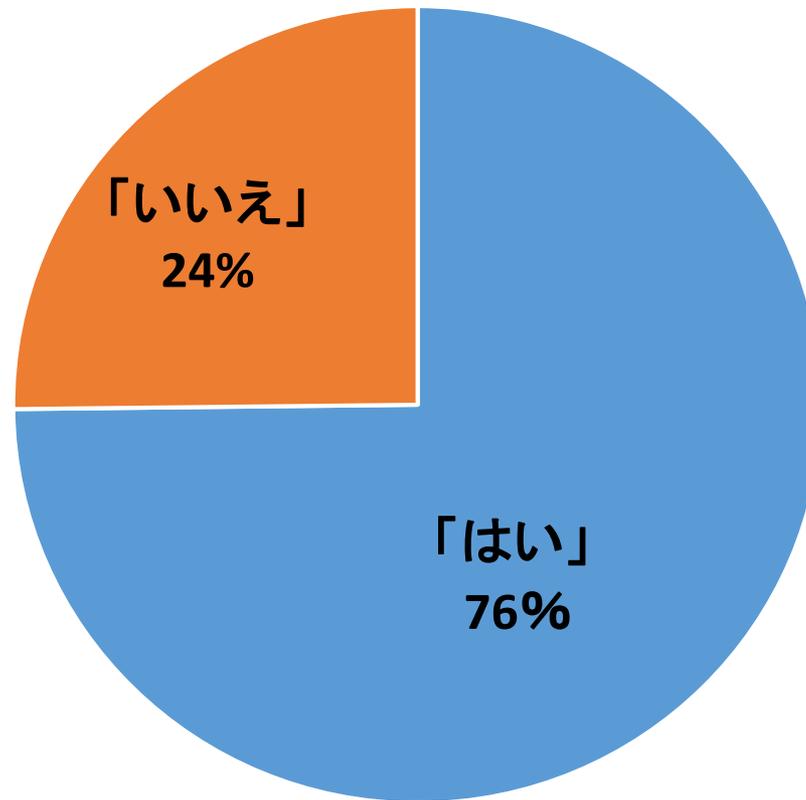
臨床実習前OSCEは、臨床実習に上がる前の 技能・態度評価として有効でしたか？



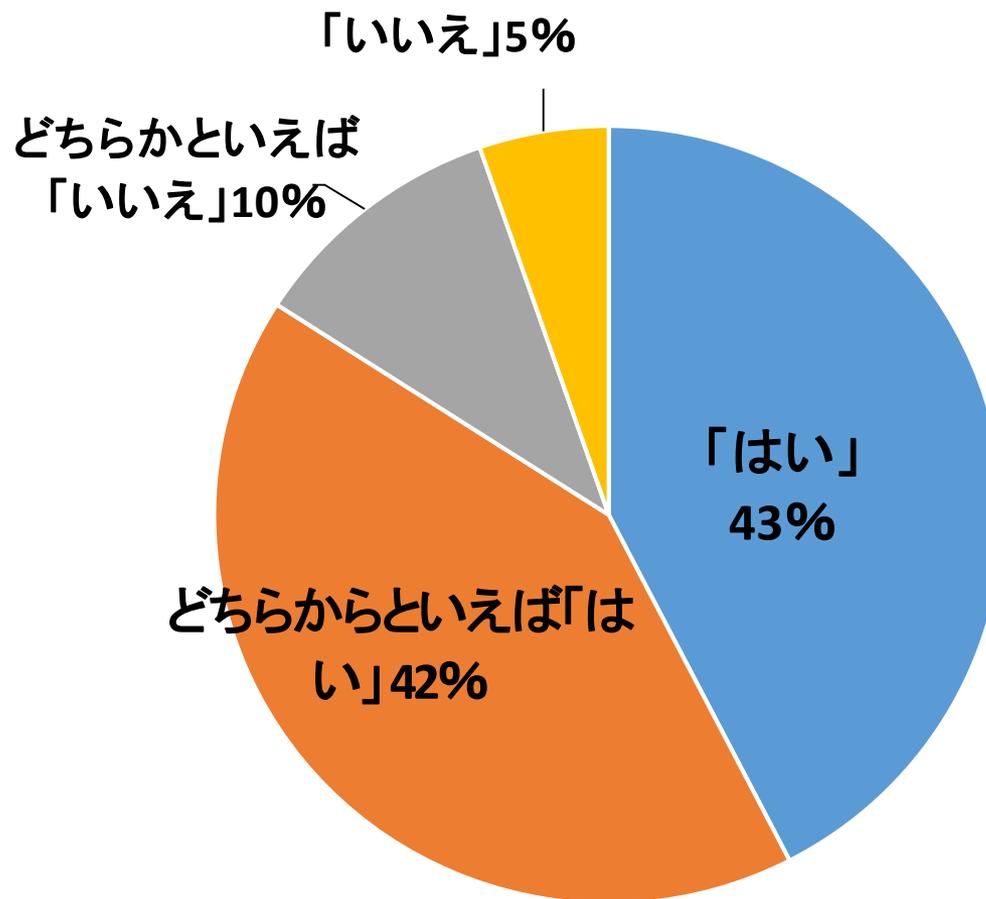
臨床基礎実習または臨床予備実習中に、
課題についての実習を行いましたか？



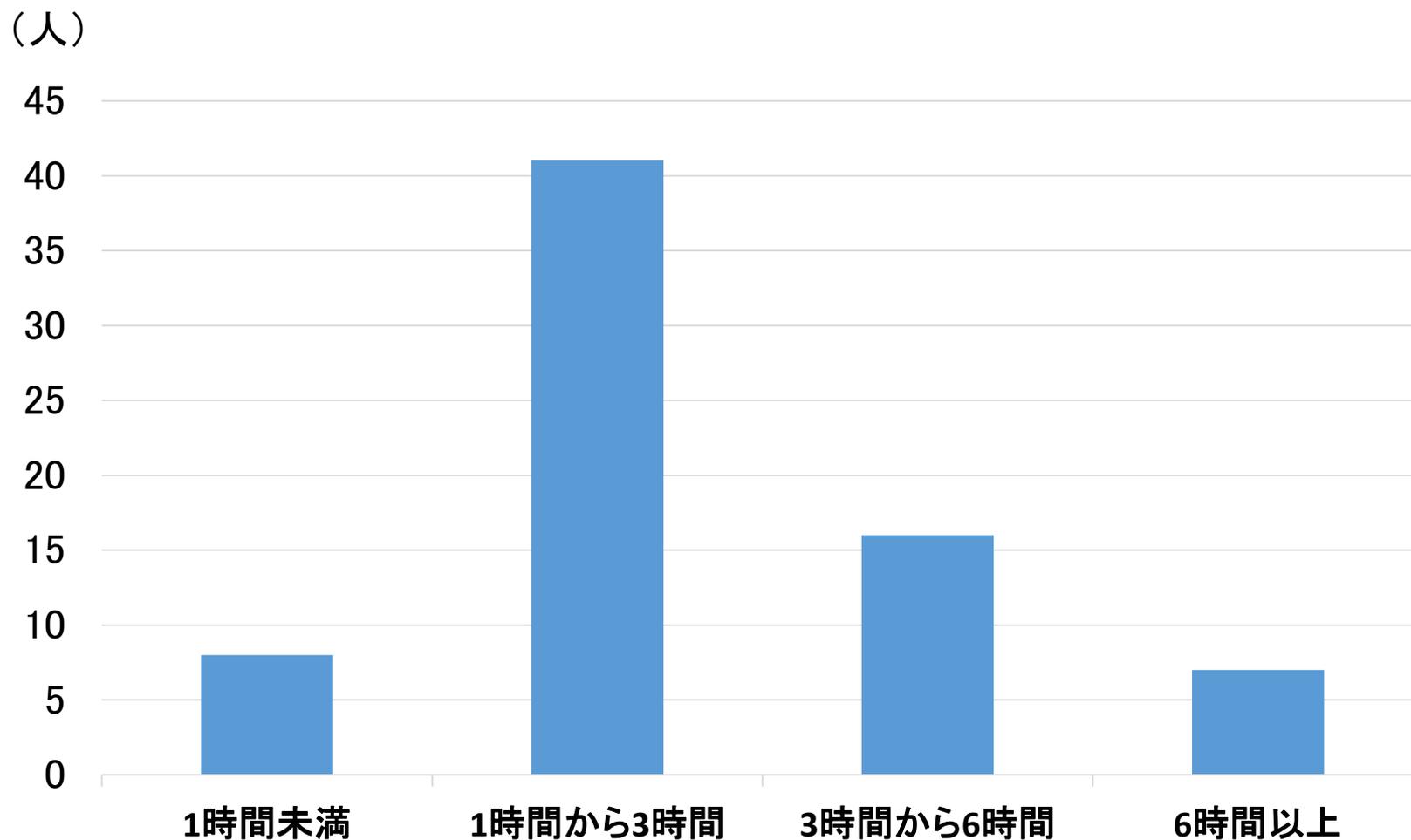
臨床実習前OSCEの試験にむけて、
診療室等の外来環境で実習を行いましたか？



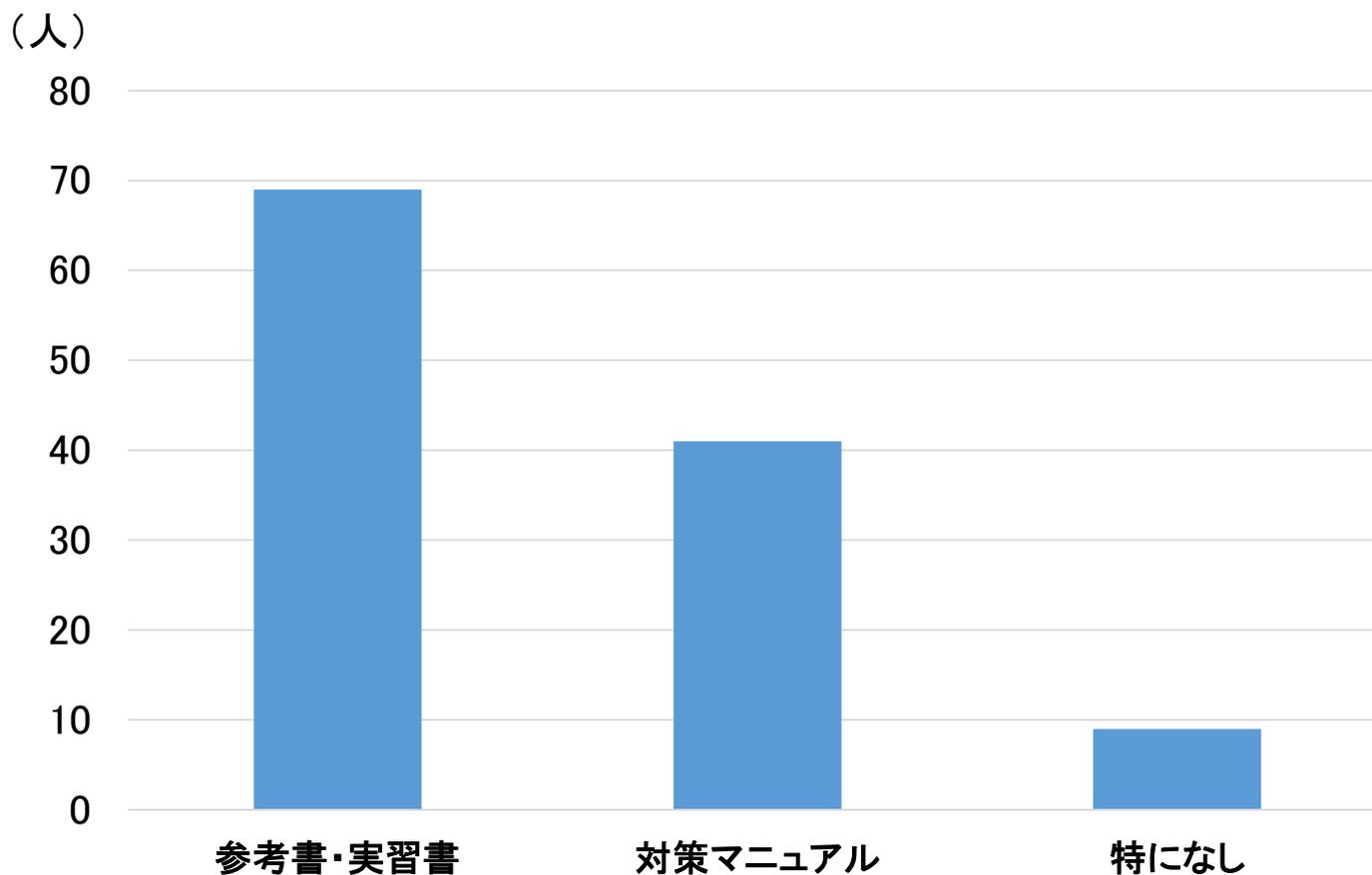
臨床実習前OSCEの試験前に自主的に 課題の練習をしましたか？



何時間程度、練習しましたか？

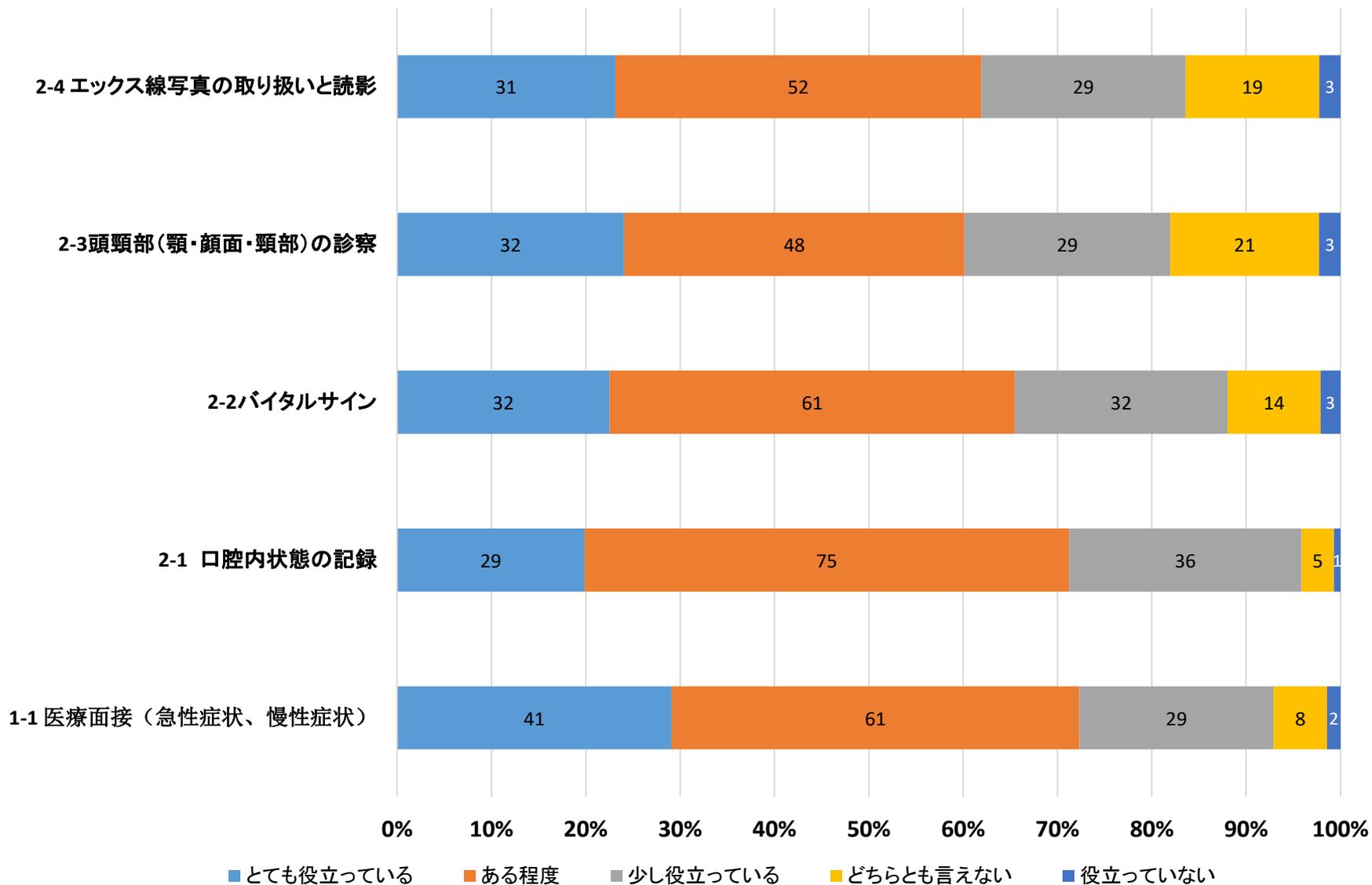


何を参考にして練習しましたか？



あなたにとって、共用試験OSCEに向けた学習が臨床実習に役立ちましたか？

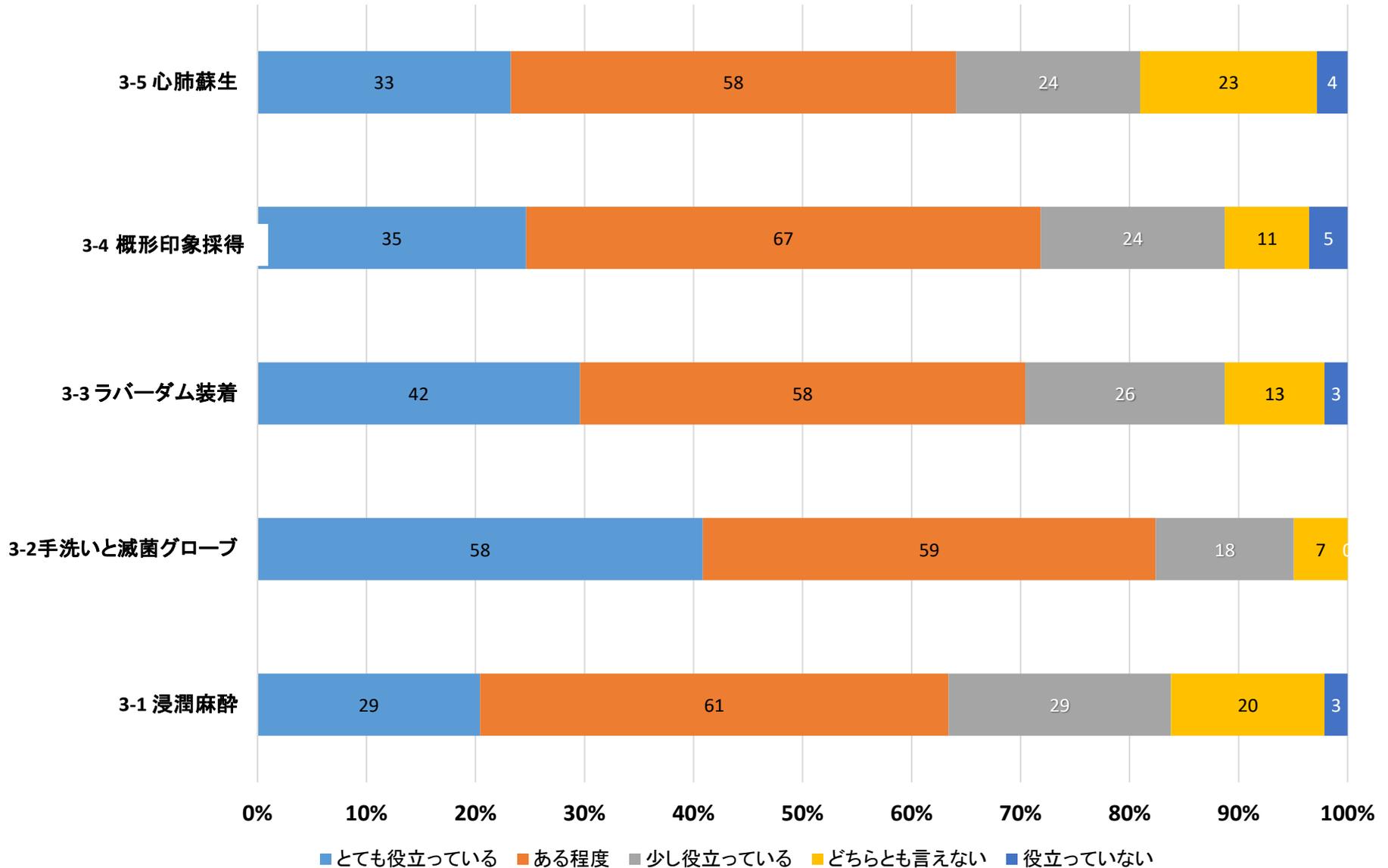
医療面接・基本的診察および検査能力



共用試験OSCE課題と臨床実習

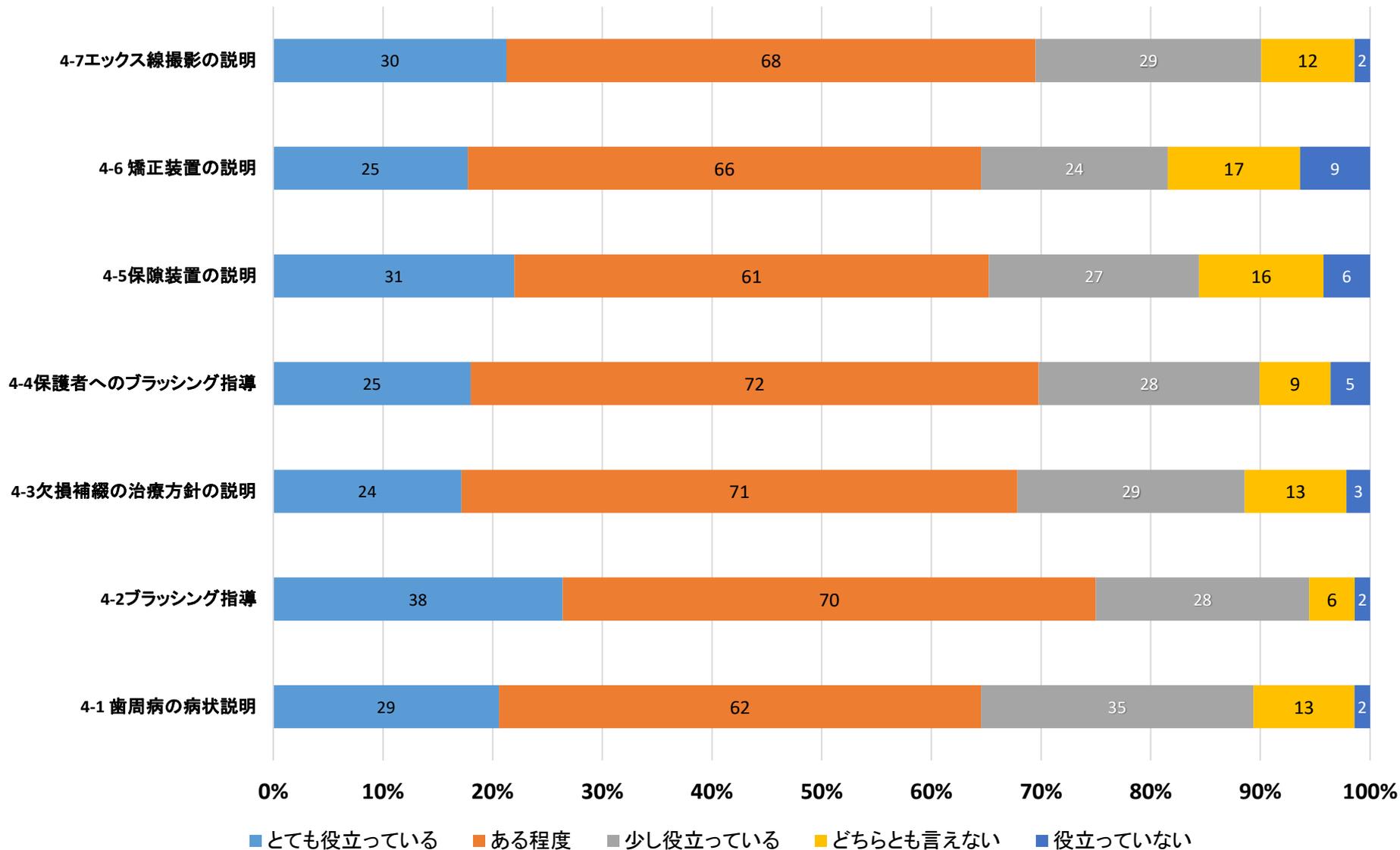
あなたにとって、共用試験OSCEに向けた学習が臨床実習に役立ちましたか？

基本的診察技能



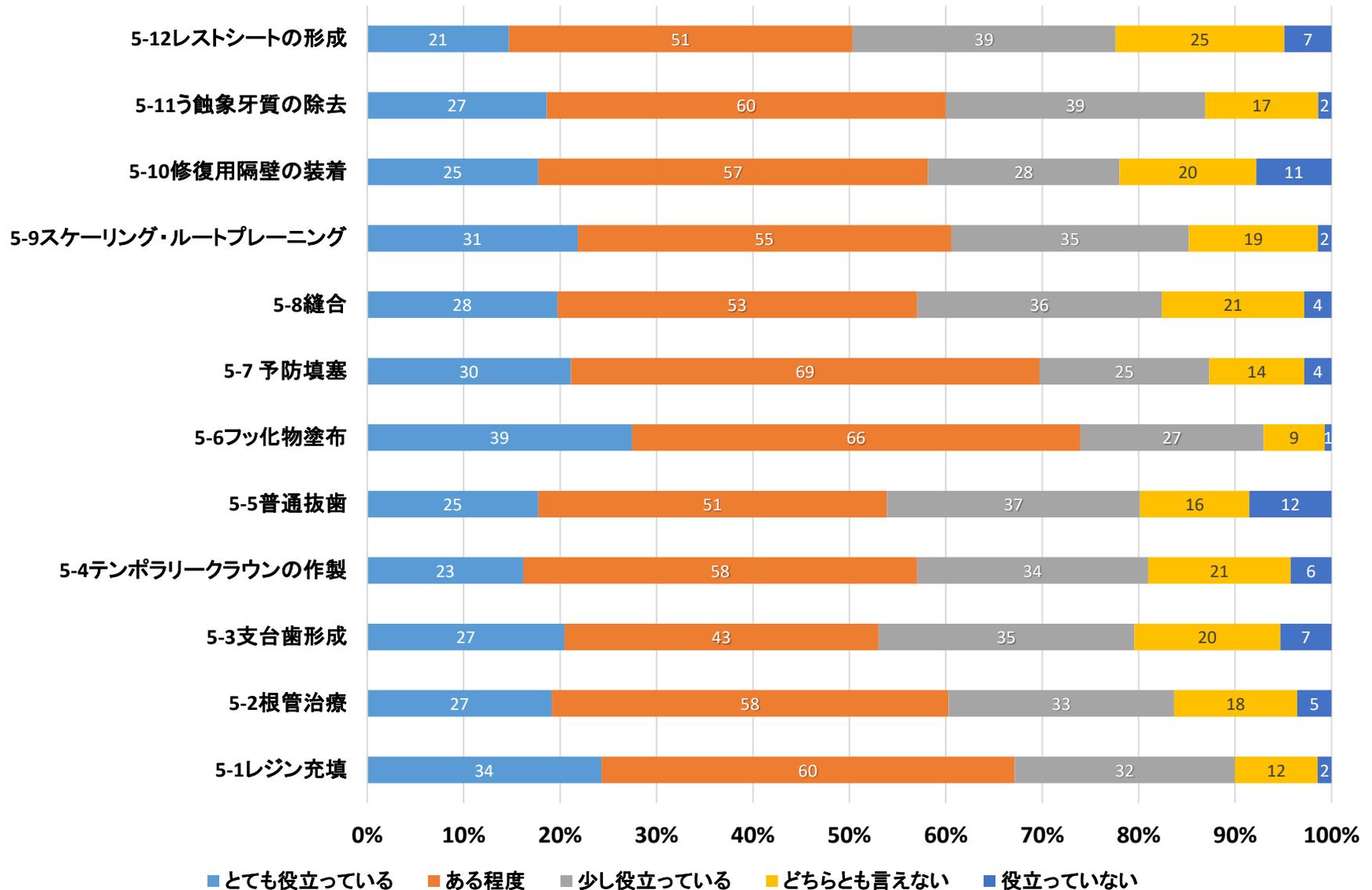
あなたにとって共用試験OSCEに向けた学習が臨床実習に役立ちましたか？

説明・指導

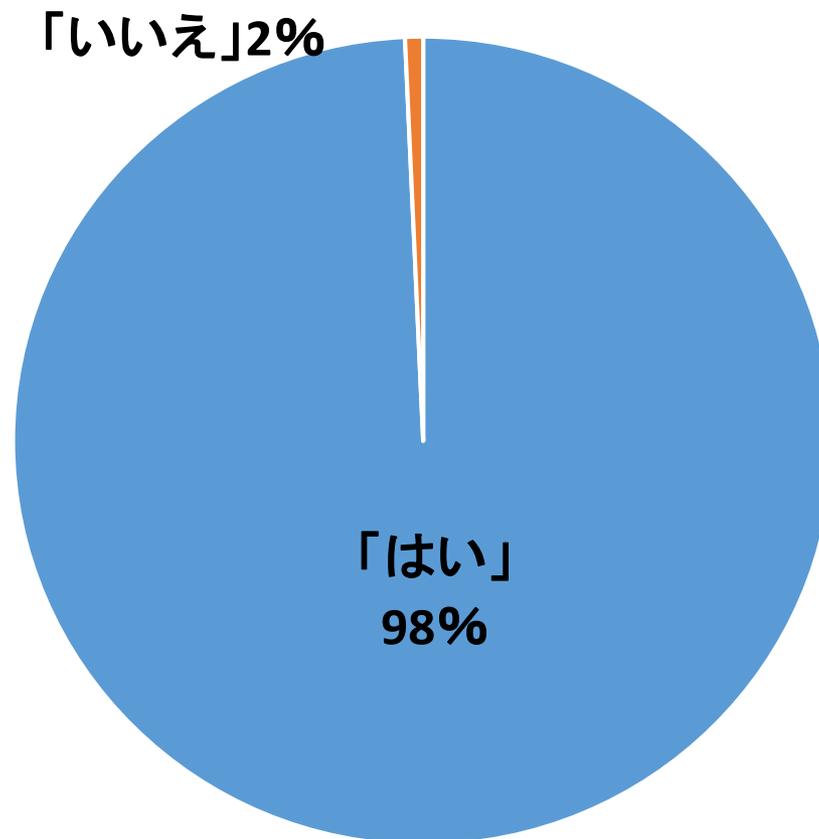


あなたにとって、共用試験OSCEに向けた学習が臨床実習に役立ちましたか？

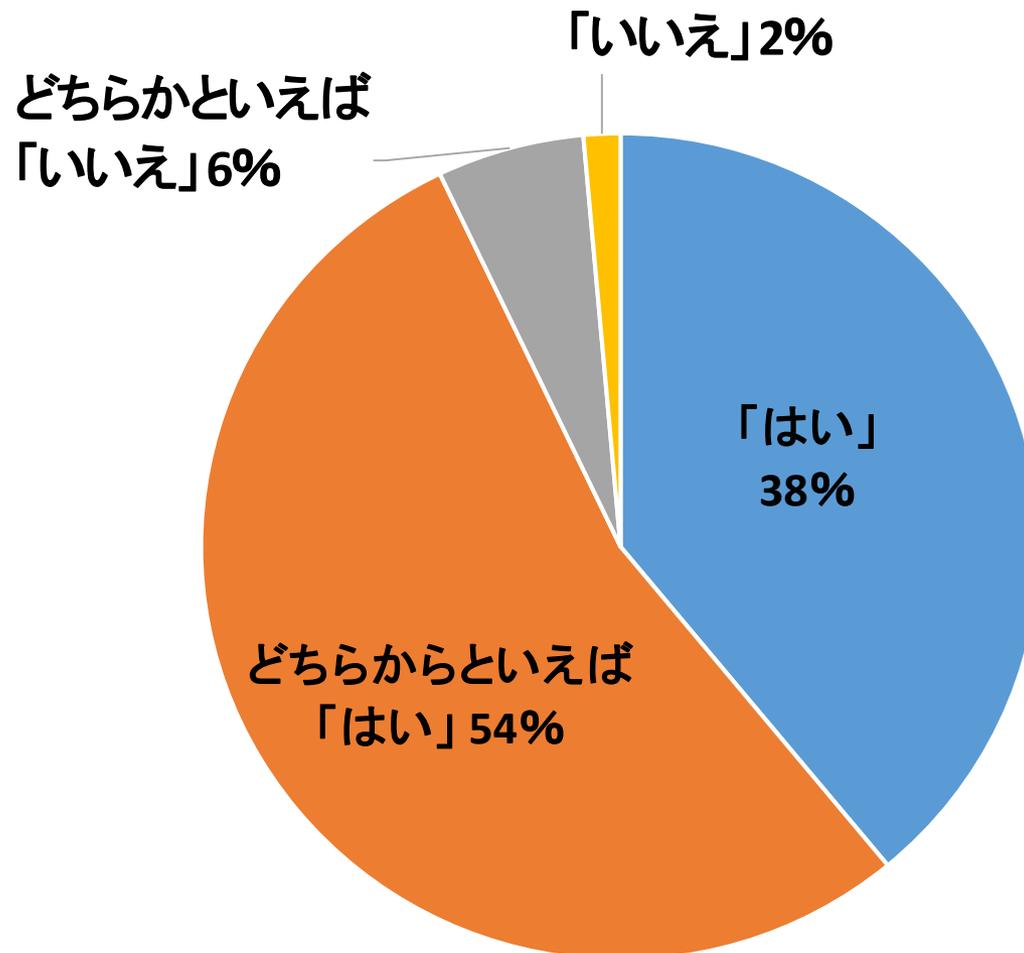
基本的臨床技能



診療参加型臨床実習は 必要と思いますか？



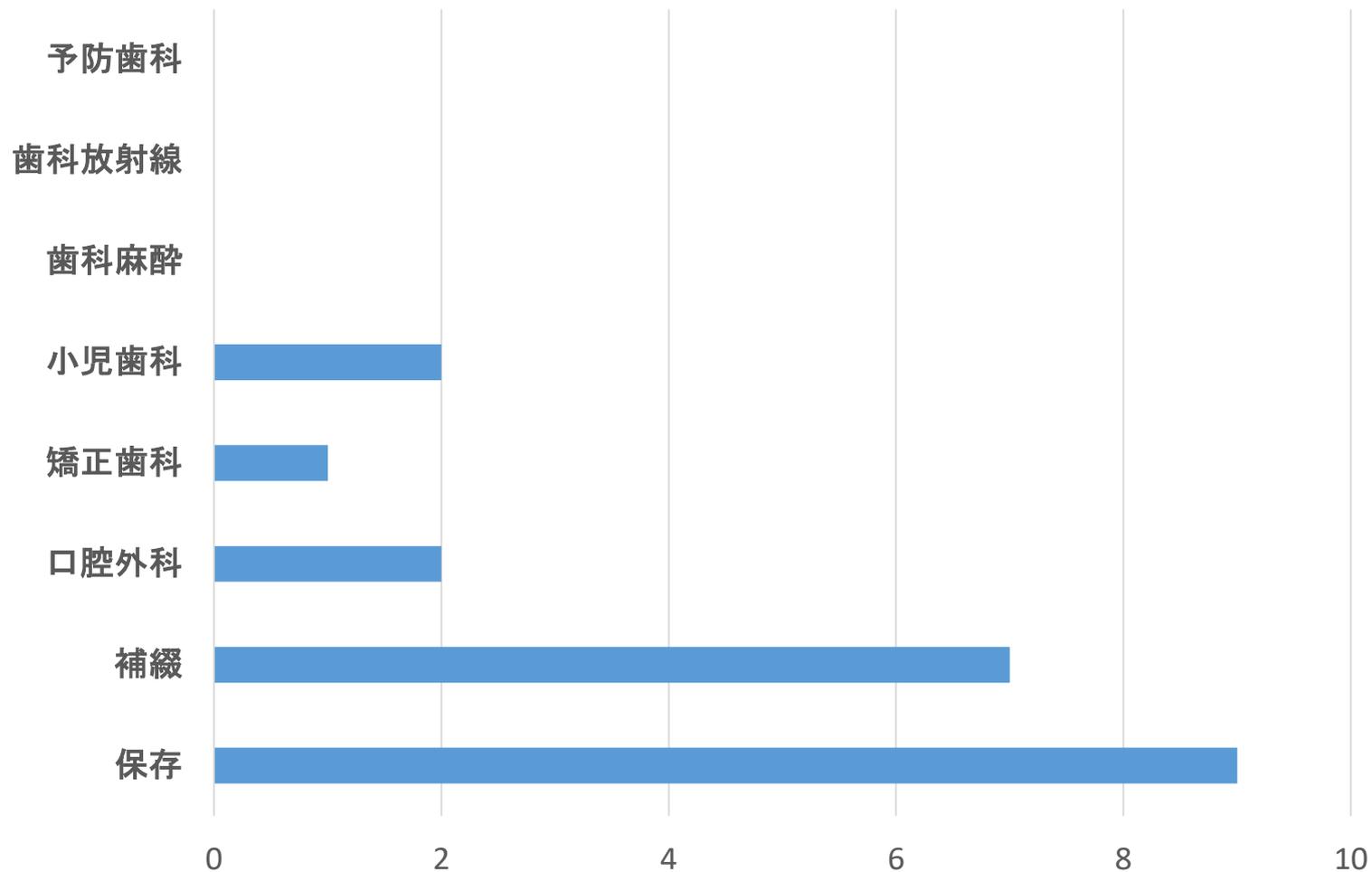
共用試験OSCEは臨床実習に上がる前の
技能・態度評価として必要ですか？



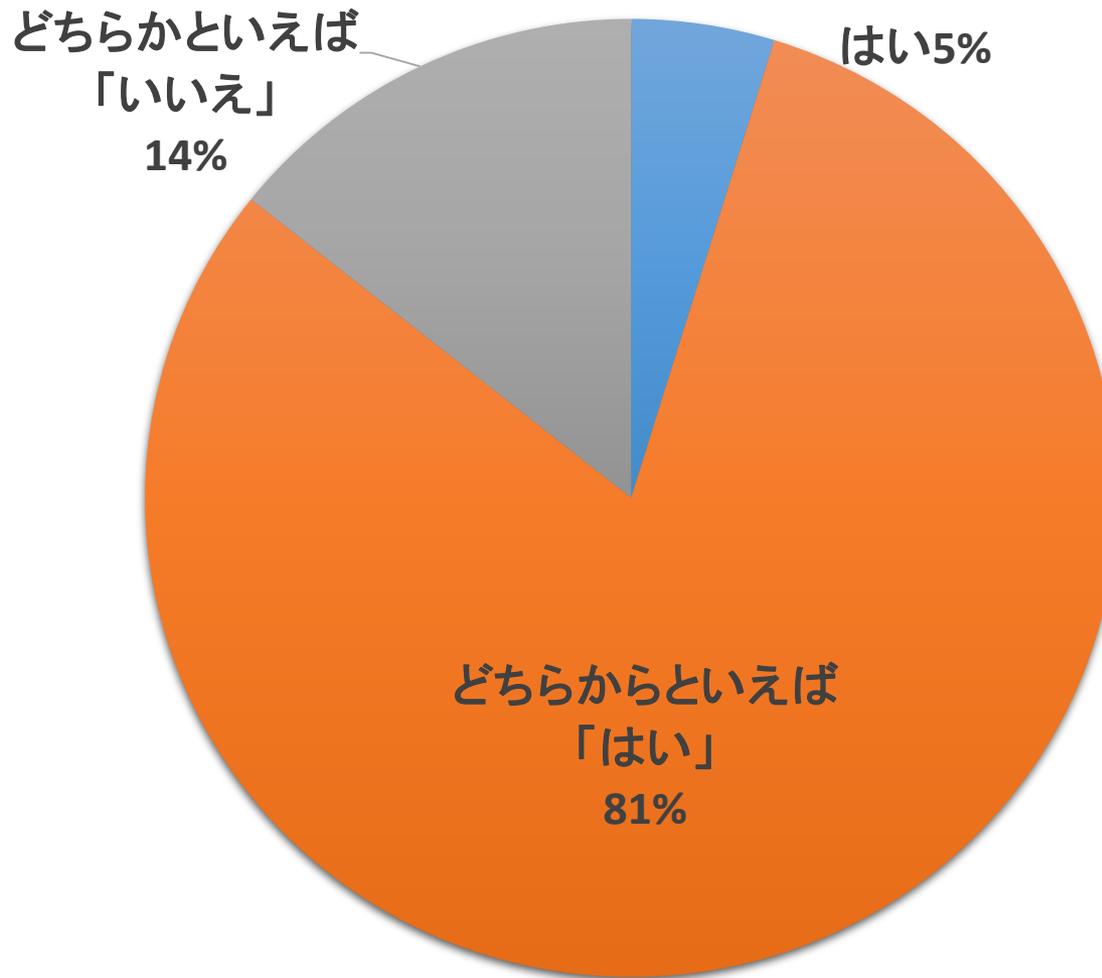
共用試験歯学系OSECの効果の検証

- 調査方法: 自記式アンケート調査
- 対象: 懇談会委員の4施設の
10年以上臨床実習での教育に従事している**教員**21名
- 回収方法: 各施設で一括して機構に送付するように依頼

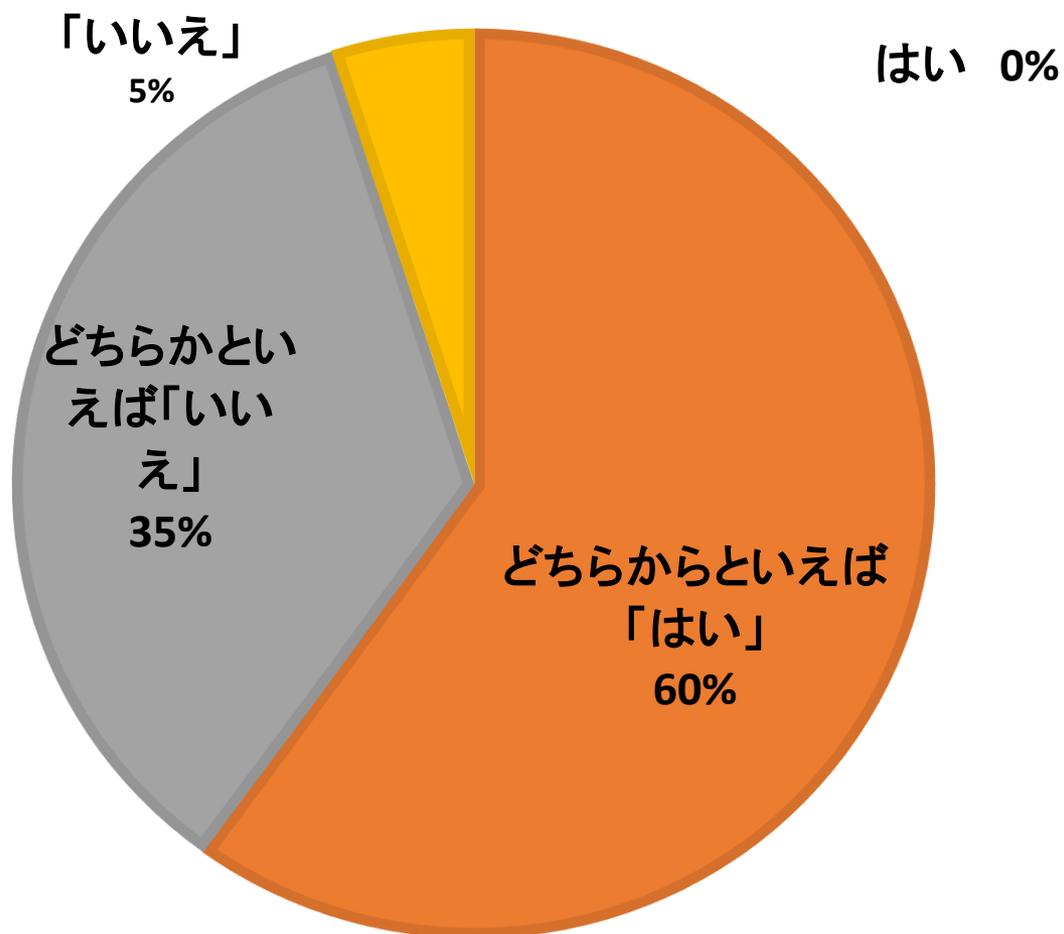
臨床基礎実習、臨床実習前実習で担当したことのある領域は、何ですか？



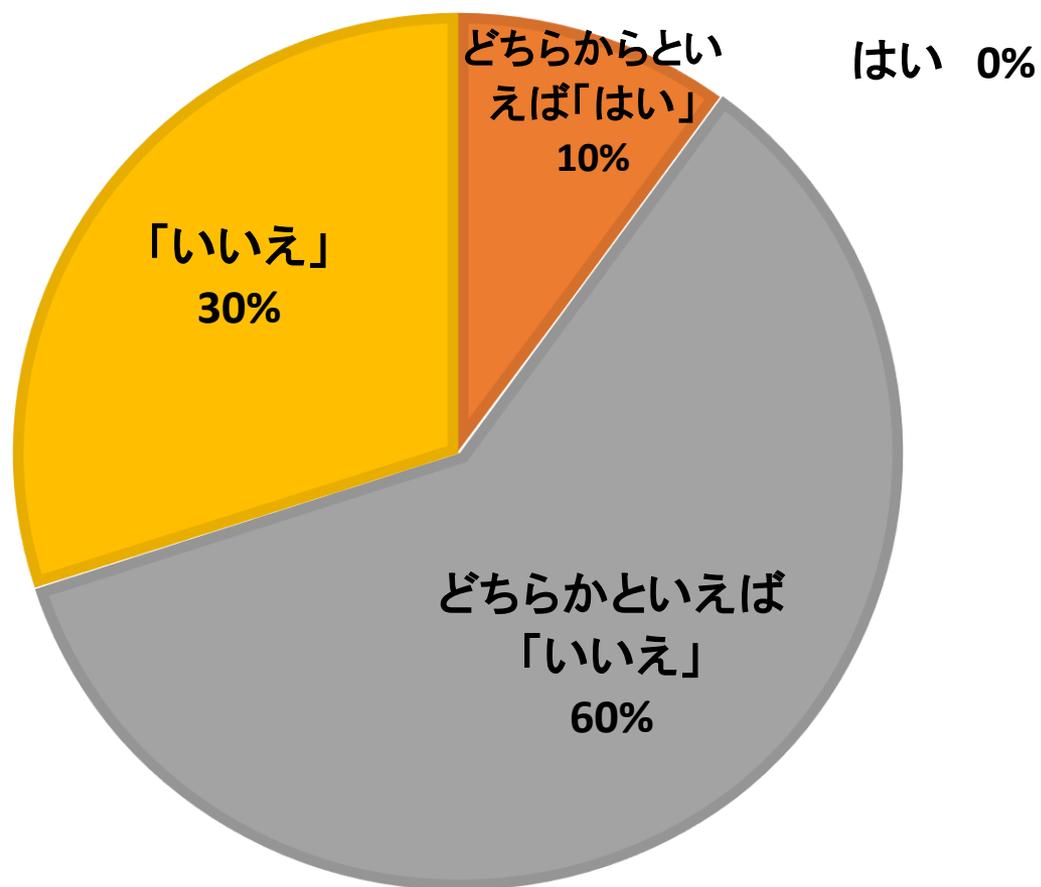
(1) 学生の基本的臨床能力を学ぶ意欲が高まりましたか？



(2) 学生の基本的臨床能力の自己学習時間が増えましたか？

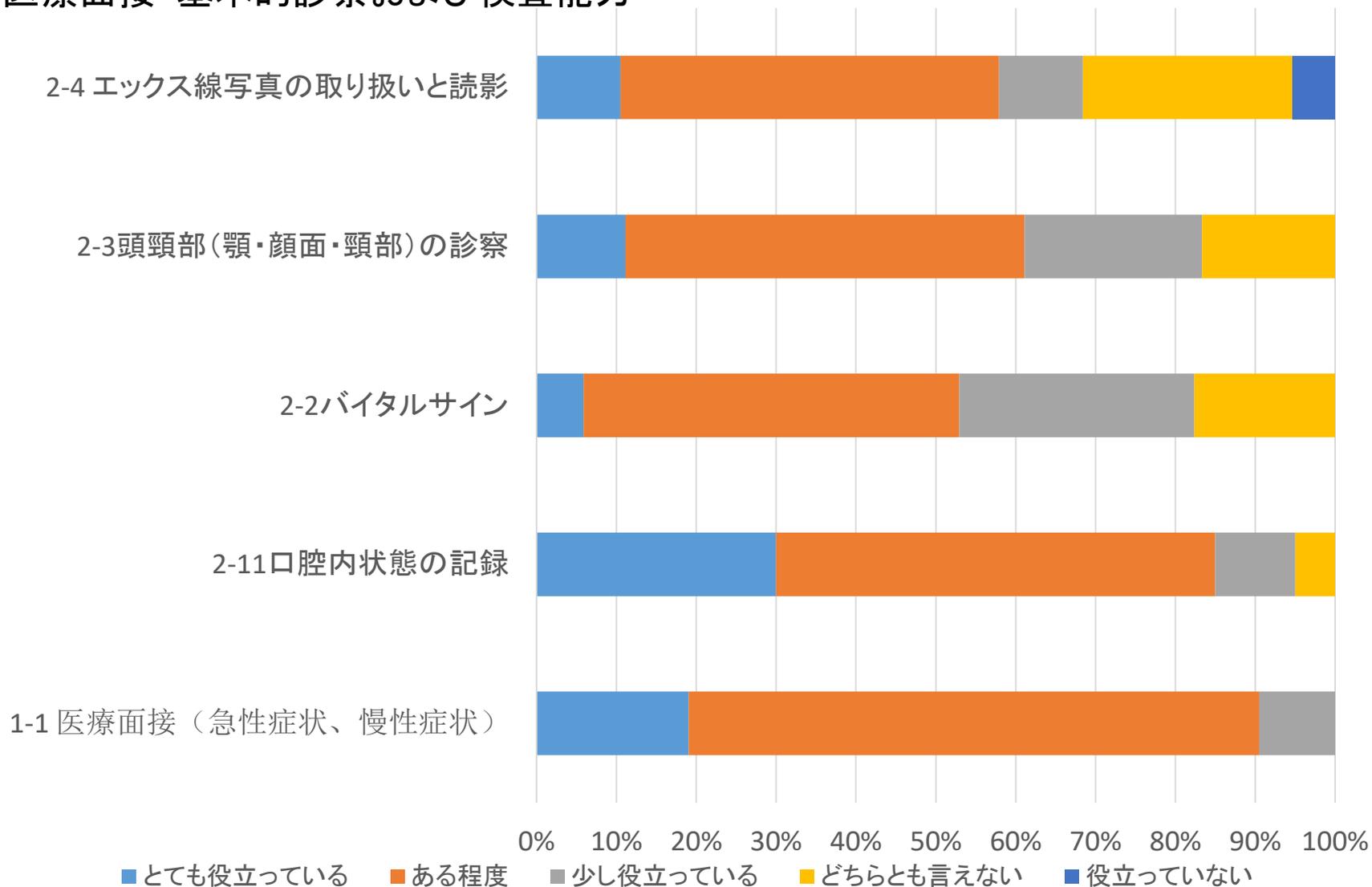


(3) 学生の臨床実習開始前の基本的臨床能力は高まりましたか？



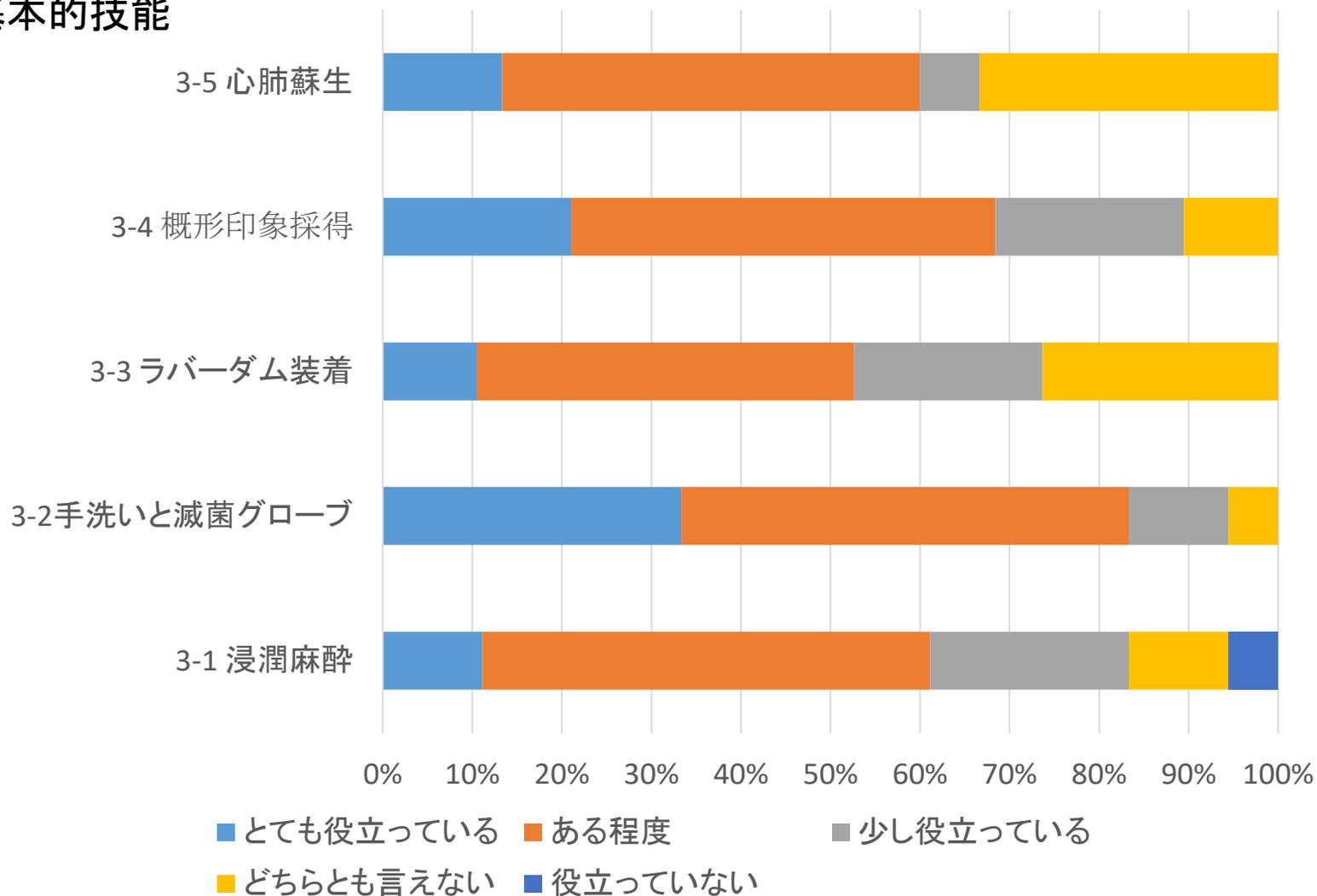
8. 共用試験OSCEに向けた学習が臨床実習に役だっていると思いますか？

医療面接・基本的診察および検査能力



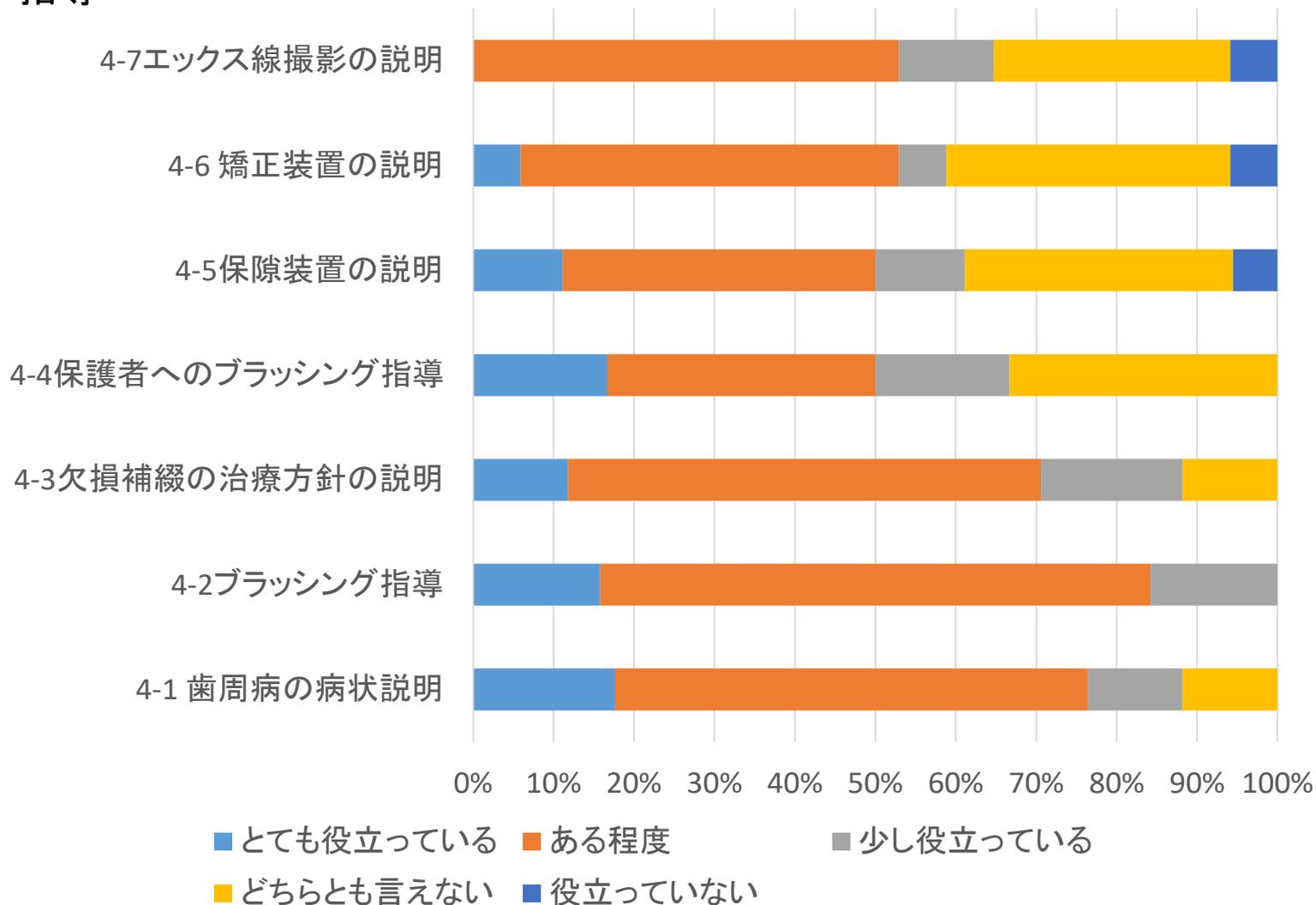
8. 共用試験OSCEに向けた学習が臨床実習に役だっていると思いますか？

基本的技能



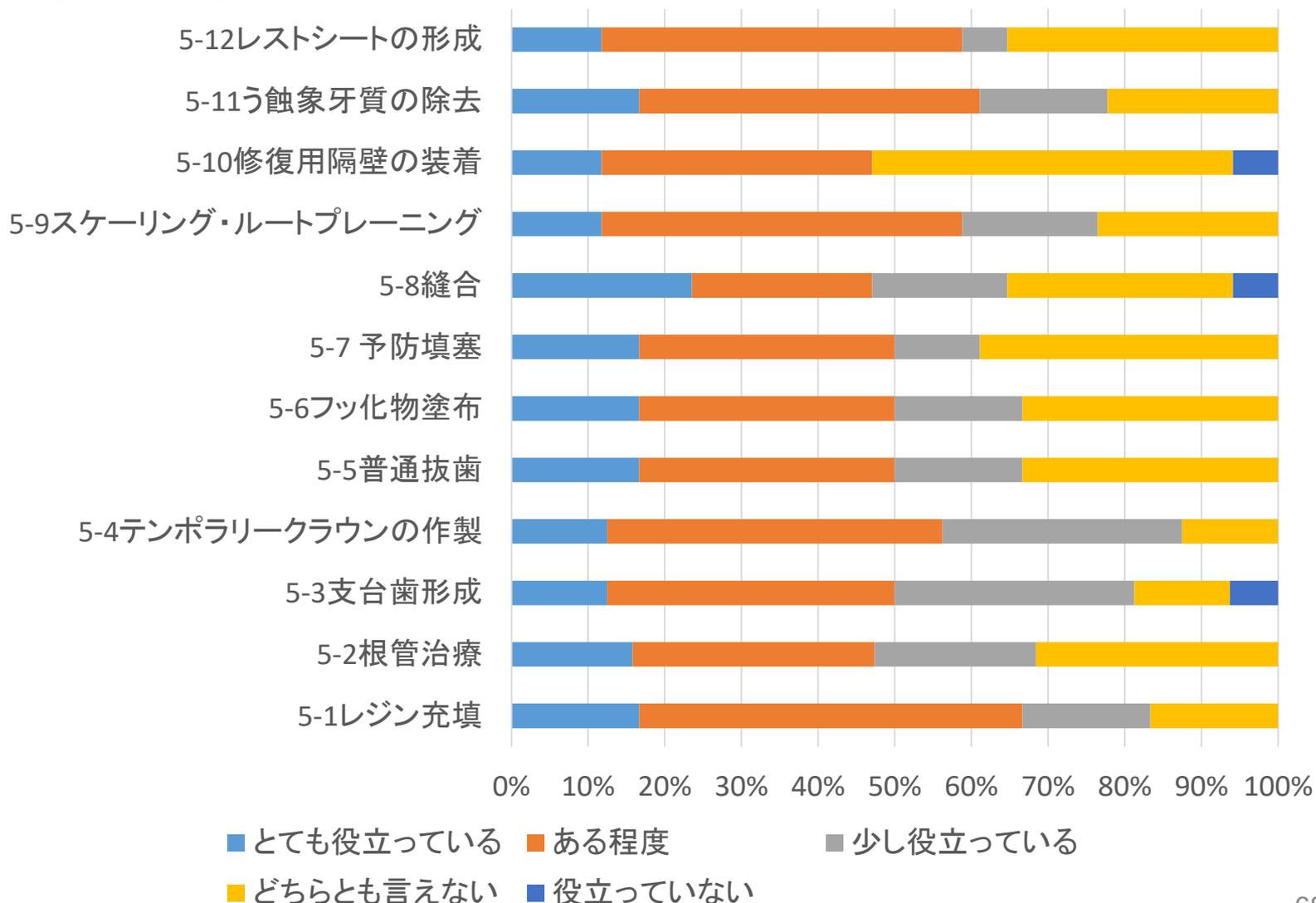
8. 共用試験OSCEに向けた学習が臨床実習に役だっていると思いますか？

説明・指導



8. 共用試験OSCEに向けた学習が臨床実習に役だっていると思いますか？

基本的臨床技能



共用試験OSCEの実施によって、診療参加型臨床実習の充実に進展があったと思いますか？

